

現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市立加茂中学校校舎（東側）便所改修工事

1 現場の状況

工事場所は、福山市加茂町大字下加茂1190番地に位置し、下加茂中野3号線、下加茂中野4号線及び服部永谷下加茂幹線に接しています。

工事期間中、2026年7月18日（土）から8月24日（月）は夏休みです。なお、土曜日、日曜日、祝日を含めて、生徒が登校しない日も校舎、屋内運動場、グラウンド等は使用することがあります。

2 別途工事

- ・電気設備工事
- ・給排水衛生設備工事

3 留意事項

- (1) 8月25日（火）から2学期が開始するため、それまでに4階便所の改修工事を完了させ、使用可能な状態にしてください。なお、部分使用検査の期間を見込んでください。
- (2) 工事期間中に予定する個人懇談会や登校日等の学校行事では、当日の作業内容について、あらかじめ施設管理者と協議が必要です。
- (3) 校舎等の使用状況により、施工方法及び内容に変更が生じる場合があります。
- (4) 工事期間中も学校施設を使用しているため、工事関係者はもとより、職員、生徒、第三者への安全確保及び立会い禁止の対策を講じてください。
- (5) 現場着手日及び工事関係車両の駐車場の計画は、あらかじめ施設管理者と協議のうえ決定してください。また、工事用車両は、通学時間帯を避けて出入りしてください。
- (6) 既設トイレブースは処分せず、図面に記載された箇所に再利用する又は、監督員が指定する施設（福山市内）に移動してください。
- (7) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「資源の有効な利用の促進に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令、建設副産物適正処理推進要綱に従い、適切に処理してください。なお、再資源化を図る資材は、「コンクリート塊、廃プラスチック、建設混合廃棄物」です。

4 一般留意事項

- (1) 工事にあたっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事車両等の進入・退出・停車等にあたっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
- (3) 資材の搬出入時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。また、道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路にかかる維持管理は、受注者で行ってください。

- (4) 工事に係る留意事項は、下請負業者及び資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (5) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
- (6) 工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。
- (7) 工事範囲内において工事用進入路確保のために行う鉄板敷き等の必要な措置は、受注者で行ってください。また、仮囲い等については、設計図書等をもとに確実にを行い、工事途上で屋外工事等のために仮囲い等の移設、一時撤去復旧が必要となった場合は、関連工事と十分な調整を行い、必要に応じて可動フェンス（H=1.8m）等により工事範囲の明示と安全の確保を行ってください。
- (8) 本工事場所の進入口、通路は、施設使用に際し工事期間中も確保する必要があるため、各入口や通路の通行と安全の確保を行ってください。
- (9) 実施工程表は、契約後14日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工計画書等についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (10) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (11) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (12) 工事施工に必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ない、手続きを行った場合は、速やかに報告してください。
- (13) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (14) 受注者は、職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。
- (15) 受注者は、工事实績情報システム（コリンズ）への登録内容をあらかじめ監督員の承諾を受け、次表の期間内に登録申請をしてください。


請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内

- (16) 本工事は、インターネットを利用して発注者及び受注者の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事です。本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い、利用料を支払ってください。運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領（建築工事）及び情報共有システム利用手引（建築工事）」を参照してください。

本工事は、発注者指定型のため、共通仮設費として情報共有システムの利用料を見込んでいます。受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができます。

福山市立加茂中学校校舎（東側）便所改修工事

図 面 目 録			
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
1	建築改修工事特記仕様書 No-1	1 3	鉄筋工事仕様書 No. 1
2	建築改修工事特記仕様書 No-2	1 4	鉄筋工事仕様書 No. 2
3	建築改修工事特記仕様書 No-3	1 5	工事区分表
4	建築改修工事特記仕様書 No-4	1 6	敷地案内図・配置図
5	建築改修工事特記仕様書 No-5	1 7	1～4階平面図
6	建築改修工事特記仕様書 No-6	1 8	1階平面図詳細図（改修前・改修後）・仕上表
7	建築改修工事特記仕様書 No-7	1 9	2～4階平面図詳細図（改修前・改修後）・仕上表
8	建築改修工事特記仕様書 No-8	2 0	天井伏図（改修前・改修後）
9	建築工事特記仕様書 No-1	2 1	展開図
1 0	建築工事特記仕様書 No-2	2 2	建具配置図・建具表（改修前・改修後）
1 1	建築工事特記仕様書 No-3	2 3	部分詳細図
1 2	建築工事特記仕様書 No-4		

工事名称 福山市立加茂中学校校舎（東側）便所改修工事			
図面名称 表紙・図面目録		尺度 図示	
	福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	図面No
		A1=100%	
		A2= 71%	
		A3= 50%	

福山市建築改修工事特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所 広島県福山市加茂町大字下加茂 1 1 9 0番地
2. 敷地面積 2.681 m²
3. 工事種目 建築一式工事
 - (1) 校舎(東側) 鉄筋コンクリート造4階建て 延べ面積1,817m²
 - (2)
 - (3)
 - (4)
 - (5)

4. 工事範囲
 - ※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。
 - ・「3. 工事種目」のうち _____ の全てを工事範囲とする。
 - ・「3. 工事種目」のうち _____ の工事範囲は次表のとおりとする。
 ただし、その他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

工事種目	工事範囲
2 仮設工事	(1)
3 防水改修工事	(1)
4 外壁改修工事	(1)
5 建具改修工事	(1)
6 内装改修工事	(1)
7 塗装改修工事	(1)
8 耐震改修工事	(1)
9 環境配慮改修工事	(1)
3 土工事	(1)
4 地業工事	(1)
5 鉄筋工事	(1)
6 コンクリート工事	(1)
20 ユニット及びその他の工事	(1)

II 建築改修工事仕様

1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」(以下「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」(以下「標準仕様書」という。)によるほか、下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。
 - ・ 建築工事標準詳細図(令和4年版) (以下「標準詳細図」という。)
 - ・ 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)
2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事それぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事特記仕様書は(/)図、機械設備工事の工事特記仕様書は(/)図による。
3. 特記仕様書の適用は次による。
 - (1) 項目は、○ 印の付いたものを適用する。
 - (2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。
 - 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 - 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。
 - (3) 特記事項に記載の [. . .] 内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

III 福山市建築改修工事仕様

本特記仕様書において、「監督職員」と記載があるものは「監督員」と読み替えるものとする。
本工事の工期は、設備工事の工期及び工事検査期間として14日を含んでいる。
本工事は、法定外の労災保険を含んでいる。

1. 官公署の手続き
 - 受注者は、発注者が行うとされている関係官公署への必要な手続きを代行する。(官公署手続きは監督職員の承諾後とする。)
2. 施工中の安全確保
 - 本工事は、交通誘導員として 人を見込んでいる。
 - 交通誘導員の配置については、実施伝票(原本)及び配置状況の分かる立会写真の撮影を行い監督職員に提出する。
3. 整理(主任) 技術者
 - 現場代理人及び整理(主任) 技術者は、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。
4. 別契約の関連工事との調整等
 - ・ 施工範囲は「工事区分表」による。
 - ・ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。
 - ・ 別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行う。

5. 施工管理
 - ※ 施工体制台帳の写しを提出する。

6. 施工図及び施工計画書
 - 提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る著作権は、発注者に移譲するものとする。


7. 保証書
 - 次の工事について保証書を提出する。

工事区分	材料名	保証年限	備 考
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	

8. 引渡し後点検
 - 引渡し後、次の点検を行う。(○印の付いたものを適用する。)
 - ・ 引渡し後点検(第1次点検) 引渡しの際ね1年後
 - ・ 引渡し後点検(第2次点検) 引渡しの際ね2年後

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
各業共通事項	① 一般事項	適用基準 図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次による。 ○ 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版) 国土交通大臣官房官庁営繕部 ○ 営繕工事写真撮影要領(令和5年版) 国土交通大臣官房官庁営繕部 ○ 建築工事標準詳細図(令和4年版) 国土交通大臣官房官庁営繕部整備課	① 技能士	適用	適用する技能検定の職種及び作業の種別は次表による。 [1. 7. 2]
	② 工事実績情報システム(コリンズ)への登録	登録 ○ する		[1. 1. 4]	適用する技能検定の職種及び作業の種別は次表による。 [1. 7. 2]
	③ 書面の書式及び取扱い	情報共有システムの適用及び機能要件 ○ 適用する 機能要件 (○ 現場説明書による)		[1. 1. 6]	適用する技能検定の作業の種別
	④ 遮隔臨場の実施	遮隔臨場の適用及び実施内容 ○ 適用する 実施内容 (・ 現場説明書による)		[1. 1. 14]	仮設工事 とび ○ とび作業
	⑤ 実施工程表	概成工期 ・ 有り (・ 現場説明書による) ○ 無し		[1. 2. 1]	鉄筋工事 鉄筋施工 ○ 鉄筋組立て作業
	⑥ 工事の記録等	報告に用いる書式等 ・ 現場説明書による ○ 改修標準仕様書 1. 2. 4 (4) により整備する工事写真については次による 「営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編 令和5年版」 国土交通大臣官房官庁営繕部整備		[1. 2. 4]	コンクリート工事 型枠施工 ○ 型枠工事作業 コンクリート圧送施工 ○ コンクリート圧送工事作業
	⑦ 電気保安技術者	配置 ・ する		[1. 3. 3]	鉄骨工事 鉄工 ・ 構造物鉄工作業
	⑧ 施工条件	・ 施工順序 () ・ 工事用車両の駐車場及び資機材の置き場所 () ○ 改修標準仕様書 1. 3. 5 (1) から(3)まで以外の施工条件 ○ 現場説明書による ○ 作業時間は、原則午前8時から午後5時までとし、通学時間帯を考慮する。 ○ 日曜日及び祝日に作業を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 ・ 週休二日適用工事 (・ 現場説明書による)		[1. 3. 5]	コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事 ブロック建築 ・ コンクリートブロック工事作業 イーエルシーパネル施工 ・ エーエルシーパネル工事作業
	⑨ 発生材の処理等	処理等 ・ 発注者に引渡しを要するもの ・ 現場説明書による ・ 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法 ・ 現場説明書による ○ 工事現場において再利用及び再資源化を図るもの ○ 現場説明書による ・ ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理 (・ 製造業者へ処分委託 ・ 管理型最終処分場処理) ・ 石綿含有せっこうボード、ひ素・カドミウム含有せっこうボード以外のせっこうボードの処理 (・ 管理型最終処分場処理 ・ 再資源化) ・ PCB含有シーリング材の分析調査 (・ 行う) ・ PCB含有シーリング材の撤去 (・ 行う) ・ 特別管理産業廃棄物の分析調査 (・ 行う) ※ 建設副産物情報交換システム(COBRIS) (附) 日本建設情報総合センター 本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。 また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入(搬出)する場合は、次表により計画書(実施書)を提出する。なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議する。		[1. 3. 12]	防水工事 防水施工 ・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 強化ビニルシート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・ FIP防水工事作業
	⑩ 石綿含有建材の調査	調査 ※ 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 調査範囲 ・ 図示による 資与資料 ・ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイト、クロソライト、トシモライト 資料採取箇所 「石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル【第2版】」の1. 7. 11による ・ 図示による		[1. 5. 1]	石工事 石材施工 ・ 石張り作業
⑪ 施工数量調査	各章の特記による。	[1. 6. 2][1. 6. 3]	タイル工事 タイル張り ○ タイル張り作業		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	
仮設工事	① 足場等	外部足場 ・ 設置する(設置範囲 ・ 工事に必要な範囲) ・ 設置しない 防護シート ・ 設置する(設置範囲 ・ 工事に必要な範囲) ・ 設置しない 内部足場 ○ 設置する(※ 脚立、足場板等) ・ 設置しない ・ 材料、撤去材等の運搬方法 種別(・ A種 ・ B種 ・ C種 ○ D種 ・ E種) C種: 利用可能なエレベーター () D種: 利用可能な階段 (北棟東側階段)	② 仮設工事	養生方法等 ○ 既存部分 養生方法 (※ ビニルシート、合板) ・ 既存家具、既存設備等 養生方法 (※ ビニルシート等) ・ 既存ブラインド、カーテン等 養生方法 (・ ビニルシート等) 保管場所 (・ 図示による) ・ 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・ 図示による	[2. 2. 1][表 2. 2. 1]	
	② 既存部分の養生	養生方法等 ○ 既存部分 養生方法 (※ ビニルシート、合板) ・ 既存家具、既存設備等 養生方法 (※ ビニルシート等) ・ 既存ブラインド、カーテン等 養生方法 (・ ビニルシート等) 保管場所 (・ 図示による) ・ 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・ 図示による		[2. 3. 1]	既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。	
	③ 仮設間仕切り	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ○ 図示による(仮設扉) 仮設間仕切りの種別と材質等 種別 仕上げ(厚さmm) 塗装 充填 ・ A種 ・ せっこうボード 種類(・) 厚さ(※ 9.5mm mm) ・ 片面 ・ グラスウール 厚さ mm ・ B種 ・ 合板 材質(・) 厚さ(※ 9mm mm) ・ C種 ・ 防炎シート		[2. 3. 2][表 2. 3. 1]	仮設間仕切り ○ 図示による(仮設扉) 仮設間仕切りの種別と材質等	仮設間仕切りにおける仮設扉の材質等 材質 仕上げ 塗装 設置箇所 ※ 木製 ※ 合板張り程度 ・ なし ・ 片面 ・ 図示による
	④ 監督職員事務所等	監督職員事務所等 建物 ・ 設置する ○ 設置しない 規模、仕上げの程度 ・ 現場説明書による 設備 ※ 監督職員との協議による ・ 現場説明書による 備品等の種類及び数量 ・ 現場説明書による		[2. 4. 1]	監督職員事務所等 建物 ・ 設置する ○ 設置しない 規模、仕上げの程度 ・ 現場説明書による 設備 ※ 監督職員との協議による ・ 現場説明書による 備品等の種類及び数量 ・ 現場説明書による	[2. 4. 1]
	⑤ 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できない ○ 利用できる (○ 有償 ・ 無償)			構内既存の施設 ○ 利用できない ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償)	
	⑥ 工事用電力	構内既存の施設 ○ 利用できない ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償)			構内既存の施設 ○ 利用できない ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償)	
	⑦ 化学物質の濃度測定	濃度測定の実施 [1. 7. 10] ・ 適用する 測定時期 ・ 現場説明書による 測定対象化学物質 ・ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン 測定方法 ・ パンツ型採取機器による 測定対象室及び測定箇所 ・ 現場説明書による		[1. 7. 10]	中間技術検査 [1. 8. 2] 実施回数()回 実施する段階() ※ 工事請負契約締結後、監督職員から通知 提出図書 ※ 改修標準仕様書 1. 9. 2 及び 1. 9. 3 による	
	⑧ 技術検査	中間技術検査 [1. 8. 2] 実施回数()回 実施する段階() ※ 工事請負契約締結後、監督職員から通知 提出図書 ※ 改修標準仕様書 1. 9. 2 及び 1. 9. 3 による		[1. 8. 2]	種類、記入内容等 [1. 9. 2][表 1. 9. 1] ※ 改修標準仕様書 表 1. 9. 1 による 提出部数()部 提出仕様(・ 紙ベース ○ 電子データ) ※ 竣工図 速やかに次の図書を提出する (※ 完成図 ・ 施工図) ○ A3判を2つ折りにして製本 1部 ・ 部 ※ 電子データ提出 一式(福山市竣工図電子データ作成要領による。) ○ CADデータ(媒体(CD-R等)、データ形式等は監督職員の指示による。)	
	⑨ 完成時の提出図書	種類、記入内容等 [1. 9. 2][表 1. 9. 1] ※ 改修標準仕様書 表 1. 9. 1 による 提出部数()部 提出仕様(・ 紙ベース ○ 電子データ) ※ 竣工図 速やかに次の図書を提出する (※ 完成図 ・ 施工図) ○ A3判を2つ折りにして製本 1部 ・ 部 ※ 電子データ提出 一式(福山市竣工図電子データ作成要領による。) ○ CADデータ(媒体(CD-R等)、データ形式等は監督職員の指示による。)		[1. 9. 2][表 1. 9. 1]	作成等 [1. 9. 3] 提出部数(1)部 提出仕様(○ 紙ベース ・ 電子データ)	
	⑩ 完成図	種類、記入内容等 [1. 9. 2][表 1. 9. 1] ※ 改修標準仕様書 表 1. 9. 1 による 提出部数()部 提出仕様(・ 紙ベース ○ 電子データ) ※ 竣工図 速やかに次の図書を提出する (※ 完成図 ・ 施工図) ○ A3判を2つ折りにして製本 1部 ・ 部 ※ 電子データ提出 一式(福山市竣工図電子データ作成要領による。) ○ CADデータ(媒体(CD-R等)、データ形式等は監督職員の指示による。)		[1. 9. 2][表 1. 9. 1]	工事完成時に次の完成写真を撮影し、監督職員に提出する。 撮影箇所 (各室4面) 撮影仕様 (形式: ※ 電子データ JPEG フルカラー) 画質等: ○ 外景 4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの ○ 各室 1280×960ピクセル以上かつデジタルカメラの設定のうち最高の画質) 提出仕様 (⊗ 電子データ ・ アルバム(A4判程度) 1部 ○ 写真機 1部) 検査後14日以内に提出する。 電子データ形式等は、監督職員の指示による。	

工事名称 福山市立加茂中学校校舎(東側) 便所改修工事		尺度 図示
図面名称 建築改修工事特記仕様書 No-1		縮尺率 図面No
	福山市建設局建築部営繕課	A1=100% A2= 71% A3= 50%
		1
		23

項目	特記事項																																																																																																									
③ 防水改修工事	<p>調査範囲 [1.6.2][1.6.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査方法 <ul style="list-style-type: none"> 図示による 既存部分の破損を行った場合の補修方法 <ul style="list-style-type: none"> 図示による 調査報告書(提出部数・2部) <p>降雨等に対する養生方法(とい共) ※ 改修標準仕様書3.1.3(5)(ア)~(ウ)による [3.1.3]</p> <p>改修工法の種類及び工程 防水改修工法 [3.1.4]</p> <p>既存防水層の処理 既存保護層の撤去 [3.1.4][3.2.6]</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う(範囲・図示による) 行わない <p>既存防水層の撤去 <ul style="list-style-type: none"> 行う(範囲・図示による) 行わない <p>既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 <ul style="list-style-type: none"> 行う(・M4S・M4SI・M4C・M4D・L4X) 行わない <p>立上り部等の既存防水層及び保護層の撤去 <ul style="list-style-type: none"> 行う(・POAS・POASI・POD・POD1・POS・POSI・POX・M4S・M4SI・S4S・S4SI) 行わない(・POAS・POASI・POD・POD1・POS・POSI・POX・M4S・M4SI・S4S・S4SI) <p>屋内防水 <ul style="list-style-type: none"> 保護層を新設(範囲・図示による) <p>既存下地の処理 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 [3.2.6]</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>POS工法及びPOSI工法(機械的固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 <ul style="list-style-type: none"> 改修標準仕様書3.2.6(4)(ウ)(g)①~③による <p>設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり、丸線の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 <ul style="list-style-type: none"> 監督職員と協議する 図示による </p></p></p></p></p></p>																																																																																																									
アスファルト防水	<p>新設防水層(屋根保護絶縁工法)の種類 [3.2.5][3.3.2~3.3.5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修工法</th> <th>新設種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>絶縁用シート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">P2A</td> <td>A-1</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">/</td> <td>※ びりびり44L</td> </tr> <tr> <td>A-2</td> <td>厚さ0.15mm以上</td> </tr> <tr> <td>A-3</td> <td>又は7777777777</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">P1B</td> <td>B-1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td>70g/mf程度</td> </tr> <tr> <td>B-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">P2A1</td> <td>A1-1</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">/</td> <td>(種類)</td> </tr> <tr> <td>A1-2</td> <td>※ JIS A 9521に基づく押出法びりびり</td> </tr> <tr> <td>A1-3</td> <td>※ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">P1B1</td> <td>B1-1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td>(厚さ)(mm)</td> </tr> <tr> <td>B1-2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>改修標準仕様書3.3.5及び表3.3.6による</p> <ul style="list-style-type: none"> JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ()mm以上 <p>部分粘着層付改修アスファルトフーイングシートの種類及び厚さ <ul style="list-style-type: none"> 改修標準仕様書3.3.3及び表3.3.4による JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ()mm以上 <p>押入金物の材質及び形状寸法 <ul style="list-style-type: none"> アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度 <p>平場の保護コンクリートの厚さ <ul style="list-style-type: none"> こて仕上げ ※ 水下 80mm以上 コンクリートの仕上りの平たんの種類 (種) 床タイル張り ※ 水下 60mm以上 <p>立上り部の保護方法 <ul style="list-style-type: none"> 乾式保護材(乾式保護材の材料) コンクリート押入 モルタル押入(屋内等) れんが押入(図示による) れんがの材料(※JIS R 1250) <p>新設防水層(屋根露出工法)の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">M4C</td> <td rowspan="4">C-1 C-2 C-3 C-4</td> <td rowspan="4">/</td> <td rowspan="4">/</td> <td rowspan="4">7777777777</td> <td rowspan="4">※ 7777777777</td> <td rowspan="4">※ 7777777777</td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M3D</td> <td rowspan="2">D-1 D-2</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">7777777777</td> <td rowspan="2">※ 7777777777</td> <td rowspan="2">※ 7777777777</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">POD</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">7777777777</td> <td rowspan="3">※ 7777777777</td> <td rowspan="3">※ 7777777777</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">POD1</td> <td rowspan="3">D1-1</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">改修標準仕様書3.3.2(9)</td> <td rowspan="3">7777777777</td> <td rowspan="3">7777777777</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M3D1</td> <td rowspan="2">D1-2</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">(種類)</td> <td rowspan="2">7777777777</td> <td rowspan="2">7777777777</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4D1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">(厚さ)(mm)</td> <td rowspan="2">7777777777</td> <td rowspan="2">7777777777</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> </tbody> </table> </p></p></p></p>	改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	P2A	A-1	/	/	※ びりびり44L	A-2	厚さ0.15mm以上	A-3	又は7777777777	P1B	B-1	/	/	70g/mf程度	B-2		P2A1	A1-1	/	/	(種類)	A1-2	※ JIS A 9521に基づく押出法びりびり	A1-3	※ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ	P1B1	B1-1	/	/	(厚さ)(mm)	B1-2		改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考	種類	使用量	M4C	C-1 C-2 C-3 C-4	/	/	7777777777	※ 7777777777	※ 7777777777	適用する	適用する	適用する	適用する	M3D	D-1 D-2	/	/	7777777777	※ 7777777777	※ 7777777777	脱気装置	脱気装置	POD	/	/	/	7777777777	※ 7777777777	※ 7777777777	脱気装置	脱気装置	脱気装置	POD1	D1-1	/	/	改修標準仕様書3.3.2(9)	7777777777	7777777777	脱気装置	脱気装置	脱気装置	M3D1	D1-2	/	/	(種類)	7777777777	7777777777	脱気装置	脱気装置	M4D1	/	/	/	(厚さ)(mm)	7777777777	7777777777	脱気装置	脱気装置
改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート																																																																																																						
P2A	A-1	/	/	※ びりびり44L																																																																																																						
	A-2			厚さ0.15mm以上																																																																																																						
	A-3			又は7777777777																																																																																																						
P1B	B-1	/	/	70g/mf程度																																																																																																						
	B-2																																																																																																									
P2A1	A1-1	/	/	(種類)																																																																																																						
	A1-2			※ JIS A 9521に基づく押出法びりびり																																																																																																						
	A1-3			※ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ																																																																																																						
P1B1	B1-1	/	/	(厚さ)(mm)																																																																																																						
	B1-2																																																																																																									
改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考																																																																																																			
				種類	使用量																																																																																																					
M4C	C-1 C-2 C-3 C-4	/	/	7777777777	※ 7777777777	※ 7777777777	適用する																																																																																																			
							適用する																																																																																																			
							適用する																																																																																																			
							適用する																																																																																																			
M3D	D-1 D-2	/	/	7777777777	※ 7777777777	※ 7777777777	脱気装置																																																																																																			
							脱気装置																																																																																																			
POD	/	/	/	7777777777	※ 7777777777	※ 7777777777	脱気装置																																																																																																			
							脱気装置																																																																																																			
							脱気装置																																																																																																			
POD1	D1-1	/	/	改修標準仕様書3.3.2(9)	7777777777	7777777777	脱気装置																																																																																																			
							脱気装置																																																																																																			
							脱気装置																																																																																																			
M3D1	D1-2	/	/	(種類)	7777777777	7777777777	脱気装置																																																																																																			
							脱気装置																																																																																																			
M4D1	/	/	/	(厚さ)(mm)	7777777777	7777777777	脱気装置																																																																																																			
							脱気装置																																																																																																			

項目	特記事項																																																																			
改修アスファルトシート防水	<p>改修アスファルトフーイングシートの種類及び厚さ <ul style="list-style-type: none"> 改修標準仕様書3.3.8及び表3.3.9による JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ()mm以上 <p>部分粘着層付改修アスファルトフーイングシートの種類及び厚さ <ul style="list-style-type: none"> 改修標準仕様書3.3.8及び表3.3.9による JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ()mm以上 <p>絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 <ul style="list-style-type: none"> 種類 ※ アスファルトフーイングシートの製造所の指定 設置数量 ※ アスファルトフーイングシートの製造所の指定 (個) <p>屋内防水 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P1E</td> <td>E-1</td> <td rowspan="2">/</td> </tr> <tr> <td>P2E</td> <td>E-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護層 設ける(※ 図示による)</p> <p>E-1の行程3を行う部位 <ul style="list-style-type: none"> 貯水槽、浴室等常時水に接する部位 <p>屋上排水溝 <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>新設防水層の種類 [3.2.5][3.4.2][3.4.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">M4AS</td> <td rowspan="3">AS-T1 AS-T2 AS-J2</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)</td> <td rowspan="3">改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)</td> <td rowspan="3">改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)</td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">M3AS</td> <td rowspan="4">AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3</td> <td rowspan="4">/</td> <td rowspan="4">/</td> <td rowspan="4">改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)</td> <td rowspan="4">改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)</td> <td rowspan="4">改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">POAS</td> <td rowspan="3">AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)</td> <td rowspan="3">改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)</td> <td rowspan="3">改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M3ASI</td> <td rowspan="2">ASI-T1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4ASI</td> <td rowspan="2">ASI-J1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">(厚さ)(mm)</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> </tbody> </table> <p>改修アスファルトシートの種類及び厚さ <ul style="list-style-type: none"> 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ()mm以上 <p>粘着層付改修アスファルトシートの種類及び厚さ <ul style="list-style-type: none"> 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ()mm以上 <p>部分粘着層付改修アスファルトシートの種類及び厚さ <ul style="list-style-type: none"> 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ()mm以上 <p>立上り部の押入金物の材質、形状及び寸法 <ul style="list-style-type: none"> アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度 <p>屋根露出防水断熱工法の断熱材の種類及び厚さ <ul style="list-style-type: none"> 種類() 厚さ() <p>絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 <ul style="list-style-type: none"> 種類 ※ 改修アスファルトシートの製造所の指定 設置数量 ※ 改修アスファルトシートの製造所の指定 (個) <p>絶縁断熱工法の防湿用シート <ul style="list-style-type: none"> 設置する 設置しない </p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p>	工法	種別	施工箇所	P1E	E-1	/	P2E	E-2	改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考	種類	使用量	M4AS	AS-T1 AS-T2 AS-J2	/	/	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	適用する	適用する	適用する	M3AS	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3	/	/	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	脱気装置	脱気装置	脱気装置	脱気装置	POAS	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3	/	/	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	脱気装置	脱気装置	脱気装置	M3ASI	ASI-T1	/	/	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	脱気装置	脱気装置	M4ASI	ASI-J1	/	/	(厚さ)(mm)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	脱気装置	脱気装置
工法	種別	施工箇所																																																																		
P1E	E-1	/																																																																		
P2E	E-2																																																																			
改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考																																																													
				種類	使用量																																																															
M4AS	AS-T1 AS-T2 AS-J2	/	/	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	適用する																																																													
							適用する																																																													
							適用する																																																													
M3AS	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3	/	/	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	脱気装置																																																													
							脱気装置																																																													
							脱気装置																																																													
							脱気装置																																																													
POAS	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3	/	/	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	脱気装置																																																													
							脱気装置																																																													
							脱気装置																																																													
M3ASI	ASI-T1	/	/	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	脱気装置																																																													
							脱気装置																																																													
M4ASI	ASI-J1	/	/	(厚さ)(mm)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)	脱気装置																																																													
							脱気装置																																																													

項目	特記事項																																																																																																																																		
合成高分子ルーフィングシート防水	<p>新設防水層の種類 [3.2.5][3.5.2~3.5.4]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">POS</td> <td rowspan="2">S-F1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S4S</td> <td rowspan="2">S-F2</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S-M1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S-M2</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S3S</td> <td rowspan="2">S-F1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S-F2</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td rowspan="2">S-M1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S-M2</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S1-F1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S3S1</td> <td rowspan="2">S1-F2</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S4S1</td> <td rowspan="2">S1-M1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S1</td> <td rowspan="2">S1-M2</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> </tbody> </table> <p>S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 <ul style="list-style-type: none"> ※ 非歩行仕様 ※ 軽歩行仕様 <p>S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム <ul style="list-style-type: none"> 設置する 設置しない <p>屋内防水 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">保護層</th> </tr> <tr> <th>平場のモルタル厚</th> <th>立上り部の保護モルタル厚</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">S-C1</td> <td rowspan="2">/</td> <td>※ 7mm以下</td> <td>※ 7mm以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>合成高分子ルーフィングシートの種類及び厚さ <ul style="list-style-type: none"> 改修標準仕様書3.5.1から表3.5.3による JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 種類 厚さ()mm以上 <p>絶縁用シート及び可変割形防止用シートの材質 <ul style="list-style-type: none"> 発泡ポリエチレンシート <p>固定金具の材質及び寸法形状 <ul style="list-style-type: none"> 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの <p>接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 <ul style="list-style-type: none"> 種類 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 (個) 設置数量 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 (個) <p>接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 <ul style="list-style-type: none"> 行う(図示による) 行わない <p>プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、S1-F1の場合) <ul style="list-style-type: none"> 行う(図示による) 行わない <p>機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け <ul style="list-style-type: none"> 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 図示による </p></p></p></p></p></p></p></p></p></p>	改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考	種類	使用量	POS	S-F1	/	/	/	/	/	脱気装置	脱気装置	S4S	S-F2	/	/	/	/	/	脱気装置	脱気装置	S-M1	/	/	/	/	/	/	脱気装置	脱気装置	S-M2	/	/	/	/	/	/	脱気装置	脱気装置	S3S	S-F1	/	/	/	/	/	脱気装置	脱気装置	S-F2	/	/	/	/	/	/	脱気装置	脱気装置	M4S	S-M1	/	/	/	/	/	脱気装置	脱気装置	S-M2	/	/	/	/	/	/	脱気装置	脱気装置	S1-F1	/	/	/	/	/	/	脱気装置	脱気装置	S3S1	S1-F2	/	/	/	/	/	脱気装置	脱気装置	S4S1	S1-M1	/	/	/	/	/	脱気装置	脱気装置	M4S1	S1-M2	/	/	/	/	/	脱気装置	脱気装置	種別	施工箇所	保護層		平場のモルタル厚	立上り部の保護モルタル厚	S-C1	/	※ 7mm以下	※ 7mm以下		
改修工法	新設種別					施工箇所	断熱材			仕上塗料									高日射反射率防水	備考																																																																																																															
		種類	使用量																																																																																																																																
POS	S-F1	/	/	/	/	/	脱気装置																																																																																																																												
							脱気装置																																																																																																																												
S4S	S-F2	/	/	/	/	/	脱気装置																																																																																																																												
							脱気装置																																																																																																																												
S-M1	/	/	/	/	/	/	脱気装置																																																																																																																												
							脱気装置																																																																																																																												
S-M2	/	/	/	/	/	/	脱気装置																																																																																																																												
							脱気装置																																																																																																																												
S3S	S-F1	/	/	/	/	/	脱気装置																																																																																																																												
							脱気装置																																																																																																																												
S-F2	/	/	/	/	/	/	脱気装置																																																																																																																												
							脱気装置																																																																																																																												
M4S	S-M1	/	/	/	/	/	脱気装置																																																																																																																												
							脱気装置																																																																																																																												
S-M2	/	/	/	/	/	/	脱気装置																																																																																																																												
							脱気装置																																																																																																																												
S1-F1	/	/	/	/	/	/	脱気装置																																																																																																																												
							脱気装置																																																																																																																												
S3S1	S1-F2	/	/	/	/	/	脱気装置																																																																																																																												
							脱気装置																																																																																																																												
S4S1	S1-M1	/	/	/	/	/	脱気装置																																																																																																																												
							脱気装置																																																																																																																												
M4S1	S1-M2	/	/	/	/	/	脱気装置																																																																																																																												
							脱気装置																																																																																																																												
種別	施工箇所	保護層																																																																																																																																	
		平場のモルタル厚	立上り部の保護モルタル厚																																																																																																																																
S-C1	/	※ 7mm以下	※ 7mm以下																																																																																																																																
塗膜防水	<p>新設防水層(ウレタンゴム系塗膜防水)の種類 [3.2.5][3.6.2][3.6.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">POX</td> <td rowspan="4">X-1 X-2 X-1H X-2H</td> <td rowspan="4">/</td> <td rowspan="4">/</td> <td rowspan="4">/</td> <td rowspan="4">/</td> <td rowspan="4">/</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">L4X</td> <td rowspan="4">X-1 X-2 X-1H X-2H</td> <td rowspan="4">/</td> <td rowspan="4">/</td> <td rowspan="4">/</td> <td rowspan="4">/</td> <td rowspan="4">/</td> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> <tr> <td>脱気装置</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量 <ul style="list-style-type: none"> 種類 ※ 主材料の製造所の仕様 設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様 (個) </p>	改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考	種類	使用量	POX	X-1 X-2 X-1H X-2H	/	/	/	/	/	脱気装置	脱気装置	脱気装置	脱気装置	L4X	X-1 X-2 X-1H X-2H	/	/	/	/	/	脱気装置	脱気装置	脱気装置	脱気装置																																																																																																		
改修工法	新設種別					施工箇所	断熱材			仕上塗料									高日射反射率防水	備考																																																																																																															
		種類	使用量																																																																																																																																
POX	X-1 X-2 X-1H X-2H	/	/	/	/	/	脱気装置																																																																																																																												
							脱気装置																																																																																																																												
							脱気装置																																																																																																																												
							脱気装置																																																																																																																												
L4X	X-1 X-2 X-1H X-2H	/	/	/	/	/	脱気装置																																																																																																																												
							脱気装置																																																																																																																												
							脱気装置																																																																																																																												
							脱気装置																																																																																																																												

項目	特記事項																																										
シーリング	<p>新設防水層(ゴムアスファルト系塗膜防水)の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修工法</th> <th>新設種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工程数及び各工程の使用量</th> <th>保護層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PIY</td> <td rowspan="2">Y-2</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td>保護モルタル</td> </tr> <tr> <td>保護コンクリート</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">P2Y</td> <td rowspan="2">Y-2</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td>保護モルタル</td> </tr> <tr> <td>保護コンクリート</td> </tr> </tbody> </table> <p>シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2.3][3.7.7.8]</p> <ul style="list-style-type: none"> シーリング充填工法 シーリング再充填工法 拡張シーリング再充填工法 ブリッジ工法 ボンドブレイカー張り 適用する 適用しない エッジング材張り 適用する 適用しない <p>シーリング材の種類、施工箇所 <ul style="list-style-type: none"> 下表以外は、改修標準仕様書3.7.1による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面台、びりびり床シート巻上</td> <td>SR-1(シラン系)</td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>シーリング材の目地寸法 <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>接着性試験 <ul style="list-style-type: none"> 簡易接着性試験 引張接着性試験 ひも状接着性試験 <p>とい <ul style="list-style-type: none"> 【3.8.2】【3.8.3】 <p>といその他の材種 <ul style="list-style-type: none"> 配管用鋼管 硬質ポリエチレン管 表面処理鋼板(規格番号) (表面及び表面の塗膜の種類) <p>とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け関係 <ul style="list-style-type: none"> 改修標準仕様書3.8.2による 図示による <p>多雲地域 <ul style="list-style-type: none"> 適用する 適用しない <p>防露材のホルムアルデヒド放散量 <ul style="list-style-type: none"> ※ F☆☆☆☆ <p>既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>鋼管製の防露巻き <ul style="list-style-type: none"> 改修標準仕様書3.8.4による <p>ルーフトレンドの種類及び呼び <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ろくろ型用たて形I型</td> <td>ねじ込み式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ろくろ型用横形I型</td> <td>ねじ込み式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バルコニー中継用</td> <td>ねじ込み式</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>差し込み式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バルコニー用</td> <td>ねじ込み式</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>差し込み式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>たてどい受金物の取付け <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>ルーフトレンドの取付け <ul style="list-style-type: none"> 水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する <p>アルミニウム製 <ul style="list-style-type: none"> 【3.9.2】【3.9.3】 <p>種類 <ul style="list-style-type: none"> 押出形材形 (・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形) 板材折曲げ形 (・ オープン形式 ・ シール形式) 本体幅()mm 板厚(※ 2.0mm ・ mm) <p>表面処理 <ul style="list-style-type: none"> 種別()種 色合等 ・ 標準色() ・ 特注色() <p>既存受金等の撤去 <ul style="list-style-type: none"> 行う(範囲・図示による) 行わない <p>下地補修の工法 <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>板材折曲げ形の受金物の取付方法 <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>受金の固定金具の工法等 <ul style="list-style-type: none"> 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 図示による </p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p>	改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層	PIY	Y-2	/	/	保護モルタル	保護コンクリート	P2Y	Y-2	/	/	保護モルタル	保護コンクリート	施工箇所	シーリング材の種類(記号)	面台、びりびり床シート巻上	SR-1(シラン系)	種類	呼び	施工箇所	ろくろ型用たて形I型	ねじ込み式		ろくろ型用横形I型	ねじ込み式		バルコニー中継用	ねじ込み式			差し込み式		バルコニー用	ねじ込み式			差し込み式	
改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層																																							
PIY	Y-2	/	/	保護モルタル																																							
				保護コンクリート																																							
P2Y	Y-2	/	/	保護モルタル																																							
				保護コンクリート																																							
施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																										
面台、びりびり床シート巻上	SR-1(シラン系)																																										
種類	呼び	施工箇所																																									
ろくろ型用たて形I型	ねじ込み式																																										
ろくろ型用横形I型	ねじ込み式																																										
バルコニー中継用	ねじ込み式																																										
	差し込み式																																										
バルコニー用	ねじ込み式																																										
	差し込み式																																										
工事名称	福山市立加茂中学校校舎(東側)便所改修工事	尺度	図示																																								
図面名称	建築改修工事特記仕様書 No-2	縮尺率	図面No																																								
	福山市建設局建築部営繕課	A1=100% A2=71% A3=50%	2/23																																								

章	項目	特記事項
①	オーバーヘッドドア	[5.13.2、3] セクション材料による区分 ※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 耐風圧性能の区分 ・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125 開閉方式による区分 ※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式による区分 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ガイドレールの材質 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置設置箇所 (・ 図示)
	ガラス	[3.7] [5.14.2~4] フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ・ 建具表による 型板ガラスの厚さによる種類 ○ 建具表による 網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・ 建具表による 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さ、特性による種類 ・ 建具表による 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類及び特性による種類 ○ 建具表による 熱線吸収ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ・ 建具表による 複層ガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性、日射遮蔽性による区分及び封入気体の種類 ・ 建具表による 熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類、日射遮蔽性による種類 ・ 建具表による 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・ 建具表による ○ ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ (mm) アルミニウム製 ○ シーリング材 ・ グレイジングガスケット 鋼製及び鋼製軽量 ○ シーリング材 ・ ステンレス製 ・ シーリング材 樹脂製 ・ グレイジングガスケット 小口加工の仕上げの程度 ()
	ガラスブロック	[5.14.5] 表面形状 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 目地幅 (mm) 平積み 曲面積み 伸縮調整 目地の位置 防火性能 ・ 160×160 ・ 200×200
	壁用金属枠及び補強材・形状	・ 図示による
	力骨	材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※ 径5.5mm 形状 ※ はしご形状複筋及び単筋
	化粧目地モルタルの色 (・ 白 ・ グレー)	シーリングの種類 (・ SR-1 ・ PS-1)
	金属製化粧カバー	材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ・ 図示による 形状 ・ 図示による
	目地部の横力骨の納まり	※ ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による
	工法	建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による

章	項目	特記事項
②	改修範囲	[6.1.3] 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示による 既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示による
	既存床の撤去及び下地補修	[6.2.2] ビニル床シート等の撤去 ○ 仕上材のみ (接着剤とも) 2~4層分 ○ 下地モルタルとも (・ 図示による ・ 撤去範囲全て ○ 1階土間とも) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目尻工法 改修後の床の清掃範囲 ※ 図示による
	既存壁の撤去及び下地補修	[6.3.2] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ 改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の処置 ※ 図示による)
	表面仕上げ (木下地)	[6.5.1] 見え掛り面の表面仕上げ ※ プレーナー加工 (施工箇所:) ・ 超自動機械かん (施工箇所:) ・ サンダー (施工箇所:)
	施工一般 (木下地)	[6.5.2] 材料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ウ)(b)による
	製材 (木下地)	[6.5.2] ・ JAS 1083-5に基づく下地用製材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 ※ 2級 ※ A種 ・ B種
		[6.5.2] ・ JAS 1083-2に基づく造作用製材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 見え掛り面 ※ 上小節 ※ A種 ・ B種 見え掛り面以外 ※ 小節以上 ※ A種 ・ B種
		[6.5.2] ・ JAS 1083-6に基づく広葉樹製材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 ※ 1等 ※ 10%以下 ・ A種 ・ B種
		[6.5.2] ・ JAS 1083 (製材) 以外の製材 施工箇所 寸法 (mm) 材面の品質 含水率 防虫処理 () ※ A種 造作材の場合 ※ B種 (※ A種 ・ B種)
	造作用集材 (木下地)	[6.5.2] ・ JAS 1152に基づく造作用集材 (品名) 施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面の面積 見付け材面の品質 ・ 造作用集材 ・ 造作用集材 (塗装) 1等 ※ 1等 ・ 造作用集材 () 1等 ※ 2等
	[6.5.2] ・ JAS 1152に基づく化粧ばり造作用集材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の面積 見付け材面の品質 化粧薄板: ※ 1等 芯材: ※ 2等	
	[6.5.2] ・ JAS 1152以外の造作用集材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率 ※ 15%以下	
	[6.5.2] ・ JAS 1152以外の化粧ばり造作用集材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率 化粧薄板: ※ 15%以下 芯材: ・	

章	項目	特記事項
③	造作用単板積層材 (木下地)	[6.5.2] ・ JAS 0701に基づく造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 (表面の化粧加工) 防虫処理 ・ 造作用単板積層材 ・ 造作用単板積層材 (未仕上げ) ・ 有り ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工 ・ 無し ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等
		[6.5.2] ・ JAS 0701以外の造作用単板積層材 施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 (表面の化粧加工) 含水率 防虫処理 ・ 有り (加工 ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ※ 14%以下 ・ 無し (等級 ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等)
		[6.5.2] ・ JAS 3079に基づく直交集成板 施工箇所 品名 強度等級 (曲げ性能) 種別 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm) ・ 異等級構成 直交集成板 ・ 同一等級構成 直交集成板 ・ A ・ B ・ C
	合板等 (木下地)	[6.5.2] ・ JAS 0233に基づく普通合板 (品名) 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 板面の品質 単板の樹種名 防虫処理 ※ 5.5 ※ 1類 ・ 2類 広葉樹 ※ 2等以上 ・ 1等 針葉樹 ※ C-D以上
		[6.5.2] ・ JAS 0233に基づく構造用合板 (品名) 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 板面の品質 単板の樹種名 保存処理 防虫処理 強度等級 ※ 12 (下配) ※ 2級以上 ※ C-D以上 ・ 1級 ・ 有り ・ 行わない () ・ 指定しない
		[6.5.2] 接着の程度 常時湿潤状態となる場所での使用 ※ 特類 その他の場合 ※ 1類以上
		[6.5.2] ・ JAS 0233に基づく化粧ばり構造用合板 (品名) 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 常時湿潤状態となる場所での使用 する場合、特類 その他の場合 (・ 特類 ・ 1類 ・)
		[6.5.2] ・ JAS 0233に基づく天然木化粧合板 施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ (mm) 接着の程度 防虫処理 ・ 1類 ・ 2類 ・ 有り ・ 行わない
		[6.5.2] ・ JAS 0233に基づく特殊加工化粧合板 (品名) 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 表面性能 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 ・ 1類 ・ 2類 ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ・ 有り ・ 行わない
		[6.5.2] ・ JIS A 5908に基づくパーティクルボード 施工箇所 種類 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 厚さ (mm) ※ 13タイプ ・ Mタイプ ・ Pタイプ ※ 15
	[6.5.2] ・ JAS 0360に基づく構造用パネル (品名) 施工箇所 厚さ (mm)	
	[6.5.2] ・ JIS A 5905に基づくMDF 施工箇所 厚さ (mm) 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分	

章	項目	特記事項
④	接合具等 (木下地)	[6.5.3] 造作材の化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし釘打ち ・ 釘隠し 隠し物の形状、寸法及び材質 かすがい ※ 改修標準仕様書表6.5.3に示す程度の市販品 ・ 産金 ※ 改修標準仕様書表6.5.4に示す程度の市販品 ・ 箱金物及び短冊金物 ※ 改修標準仕様書表6.5.5に示す程度の市販品 ・
	接着剤 (木下地)	[6.5.3.4] 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆
	防塵・防蟻処理 (木下地)	[6.5.5] ・ 工場における薬剤の加圧注入等 ・ 改修標準仕様書6.5.5(1)(a)①による加圧注入 適用部材 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4
		[6.5.5] ・ 薬剤の塗布等による防塵・防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 ※ 薬剤の製造所の仕様による ・ ・
	不燃処理木材等 (木下地)	[6.5.5] ・ 不燃材料処理木材等の適用 不燃材料 適用部位 () 準不燃材料 適用部位 () 難燃材料 適用部位 ()
	内部間仕切軸組及び床組み (木下地)	[6.5.6] ・ 間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 杉又は松 ・ 床組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 杉又は松
	窓、出入口その他 (木下地)	[6.5.7] ・ 窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 吊元材、水割りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
	床板張り (木下地)	[6.5.8] ・ 縁甲板及び上がりがまに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ ひのき
	壁及び天井下地 (木下地)	[6.5.9] ・ 壁及び天井下地に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 杉または松
	軽量鉄骨天井下地	[6.6.2~4] 野縁等の種類 屋外 ※ 25形 ・ 19形 屋内 ※ 19形 ・ 25形 屋外の形式及び寸法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・ 図示による 周辺部の端からの間隔 ・ 図示による 野縁の間隔 ・ 図示による 既存の埋込みインサート ○ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う (試験箇所数 ※ 屋外の場合、当該階において3箇所 ・ 箇所) (確認強度 ※ 吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m ² 以内の天井の場合は400mm程度 ・ N) ・ 行わない ・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 (補強方法 ※ 図示による) ・ 天井のふところ高が3.0mを超える場合 (補強方法 ※ 図示による) ・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強 (補強箇所 ※ 図示による) (補強方法 ※ 図示による) ・ 屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 (補強箇所 ※ 図示による) (補強方法 ※ 図示による)

工事名称
福山市立立茂中学校校舎 (東側) 便所改修工事

図面名称
建築改修工事特記仕様書 No-5

図面No
5

縮尺率
A1=100%
A2= 71%
A3= 50%

23

章	項目	特記事項
○ 床地ごしらえ	[7.3.2~7.3.7]	
	下地面等	
	不透明塗料塗りの場合	※ A種 ・ B種
	透明塗料塗りの場合	※ B種 ・ A種
	鉄鋼面 (DP以外)	※ C種 ・ A種 ・ B種
	鉄鋼面 (DP)	※ B種 ・ A種 ・ C種
	亜鉛めっき鋼面	※ A種 ・ B種
	モルタル面及びプラスター面	※ B種 ・ A種
	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	※ B種 ・ A種
	押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)	※ B種 ・ A種
せっこうボード面及びその他ボード面	※ B種 ・ A種	
・ 錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種類 [7.4.2~7.4.3]	
	素地面	塗装の種類
	SOP	塗替え
	錆止め塗装のまま (工程の種類は表7.4.3)	新規見え隠れ
	EP-G	塗替え
	(工程の種類は表7.4.3)	新規見え隠れ
	DP	塗替え
	(工程の種類は表7.4.4)	新規
	亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等
	SOP	塗替え
(工程の種類は表7.4.5)	新規	
めっき鋼面	鋼製建具等	
EP-G	塗替え	
(工程の種類は表7.4.5)	新規	
DP	塗替え	
(工程の種類は表7.4.6)	新規	
○ 塗装	[7.5.2~7.10.2]	
	塗装の種類	塗装面
	○ 合成樹脂塗料 (DP)	木部屋外
	木部屋内	鉄鋼面
	※ 1種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)
	・ 2種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)
	・ クリヤラッカー塗り (CL)	
	・ アクリル樹脂系非水分散形塗料 (NAD)	
	・ 耐候性塗料 (DP)	
	・ つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	
・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UD)		
・ ビグメントステイン塗り		
・ 木材保護塗料 (WP)		
つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面) の塗替えの場合のしきり		※ 改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りとしきりシーラーとする
合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきり		※ 改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りとしきりシーラーとする
クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用		・ 適用しない
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の適用		・ 適用する (着色剤: 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤)
8-1 鉄筋	鉄筋の種類等 [8.2.1]	
	種類の記号	呼び径 (mm)
	・ SD295	
	・ SD345	
	鉄筋の形状等 [8.2.2]	
	種類	種類の記号
	・ 溶接金網	
	加工 [8.3.2]	
	鉄筋の折曲げ角度が90°未満の内法直径(D) ()以上	

章	項目	特記事項		
8-2 鉄筋の継手及び定着	鉄筋の継手の方法等 [8.3.4]			
	部位	継手方法		
	柱、梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手		
	耐力壁の鉄筋	・ 溶接継手 ・ 重ね継手		
	その他の鉄筋 ()	・ 重ね継手		
	継手位置	・ 図示による ()		
	柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ	※ 改修標準仕様書表8.3.2による		
	耐力壁の重ね継手の長さ	※ 改修標準仕様書表8.3.4(3)(ア)による		
	先組工法等で、柱及び梁の主筋のうち隣り合う継手を同一箇所に設ける場合	・ 図示による ()		
	鉄筋の定着の長さ	※ 改修標準仕様書表8.3.4による		
折り曲げ定着の方法	※ 改修標準仕様書表8.3.4(5)(イ)の図8.3.3による			
機械式定着工法	・ 適用する			
適用箇所	・ 図示による ()			
種類	・ 摩擦圧接接合 ・ 鋼合グラウト固定			
・ 鉄合グラウト固定				
帯筋組立の形、継手及び定着	・ 図示による			
8-3 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む)	最小かぶり厚さ [8.3.5]			
	※ 改修標準仕様書表8.3.5(1)による			
	図示による ()			
	軽量コンクリートを適用する場合			
	・ あり 適用箇所 ()			
	改修標準仕様書表8.3.6の最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm			
	耐久性上不利な箇所がある場合 (塩害等を受けるおそれのある部分等)			
	・ あり 適用箇所 ()			
	最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm			
	8-4 壁の配筋及び補強	壁の配筋及び壁開口部の補強 [8.3.6]		
図示による				
8-5 圧接完了後の圧接部の試験		超音波探傷試験 [8.3.8]		
		※ 行う (全圧接部)		
		8-6 機械式継手	適用箇所 [8.4.2]	
			・ 図示による ()	
			H12建告第1463号に適合する性能	
			・ A級	
			種類	
			鉄筋相互のあき	
	・ 図示による			
	施工完了後の継手部の試験			
・ 外観試験				
試験対象				
※ 全数				
試験項目及び否判定				
※ 改修標準仕様書表8.4.1~表8.4.3による				
評定等の評価内容による				
不合格となった場合の措置				
※ 改修標準仕様書表8.4.2(5)(ア) (a)~(c)による				
・ 図示による ()				
超音波測定試験				
試験対象				
・ 法取り				
ロッドの大きさ ()				
試験箇所数: ()箇所/ロット				
・ 全数				
不合格となった場合の措置				
・ 図示による ()				
8-7 溶接継手	適用箇所 [8.4.3]			
	・ 図示による ()			
	H12建告第1463号に適合する性能			
	・ A級			
	溶接継手の性能、工法			
	・ 図示による ()			
	鉄筋相互のあき			
	・ 図示による ()			
	施工完了後の継手部の試験			
	・ 外観試験			
試験対象				
※ 全数				
試験項目				
試験方法				
不合格となった場合の措置				
・ 超音波探傷試験				
試験対象				
不合格となった場合の措置				
・ 図示による ()				


章	項目	特記事項		
8-2 コンクリートの種類	コンクリートの種類 [8.1.3]			
	※ I類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)			
	II類 (I類以外でJIS A 5308に適合したコンクリート)			
	建築基準法第37条第二号の規定に基づき国土交通大臣の認定を受けたコンクリート			
	適用箇所 ()			
	8-2 コンクリートの品質、調合	普通コンクリート [8.1.4][8.2.5][8.9.2]		
		設計基準強度 (N/mm ²)	スラブ (cm)	
		気乾単位容積質量 (t/m ³)	適用箇所	
		・ 24		
		構造体強度補正値 ※ 改修標準仕様書表8.2.4による		
軽量コンクリート				
設計基準強度 (N/mm ²)		スラブ (cm)		
気乾単位容積質量 (t/m ³)		種類		
・ 21		・ 1種 ・ 2種		
適用箇所 ()				
8-2 セメント	種類 [8.2.5]			
	※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種			
	適用箇所 ()			
	高炉セメントB種			
	適用箇所 ()			
	フライアッシュセメントB種			
	適用箇所 ()			
	8-2 フェノキスラグ骨材、鋼スラグ骨材及び電気炉融骨材	フェノキスラグ骨材、鋼スラグ骨材及び電気炉融骨材 [8.2.5]		
		・ 使用する		
		普通エコセメントを使用するコンクリートの骨材		
・ 再生骨材Hを使用する				
アルカリシリカ反応性による区分				
※ A ・ B				
8-2 混和材料		混和剤 [8.2.5]		
		混和剤の種類		
		※ 改修標準仕様書表8.2.5(4)(ア)による		
		混和材の種類		
	※ 改修標準仕様書表8.2.5(4)(イ)による			
	改修標準仕様書表8.2.5(5)(イ)(f)④の①~③以外の混和材料			
	・ 混和剤 () ・ 混和材 ()			
	使用方法			
	使用量			
	8-2 構造用モルタル	構造用モルタル [8.2.6]		
引張強度 ()				
フロー値 ()				
8-10 層中コンクリート		スラブ [8.10.2]		
		※ 21m		
		構造体強度補正値		
		※ 改修標準仕様書表8.10.1による		
		8-11 無筋コンクリート	コンクリートの種類 [8.11.1]	
			※ 普通コンクリート	
			設計基準強度	
	※ 18N/mm ²			
	スラブ			
	※ 15cm又は18cm			
適用箇所 ()				
改修標準仕様書表8.1.1以外のコンクリートを用いる場合 ()				
8-1 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [8.1.4]			
	種別		適用箇所	
	・ A種			
	・ B種			
	・ C種			
	コンクリートの仕上りの平たんさ			
	種別	適用箇所		
	・ a種			
	・ b種			
	・ c種			
8-2 せき板の材料及び厚さ	せき板の材料及び厚さ [8.2.7]			
	・ 合板 (※ 12mm)			
	スリーブの材質・規格等			
	・ 図示による ()			
	8-7 打増し厚さ (打放し仕上げ部)	打増し厚さ [8.7.8]		
		・ 打放し仕上げ部の打増し厚さ (外部に面する部分に限る)		
		・ 20mm		
		打増し範囲		
		・ 図示による		
		8-7 シアコネクタをセパレーターとして使用	シアコネクタをセパレーターとして使用 [8.7.8]	
使用箇所				
・ 図示による ()				
8-7 型枠の存置期間及び取外し			普通エコセメントの場合の最小存置期間 [8.7.8]	

章	項目	特記事項		
○ あと施工アンカー工事	材料等 [8.2.4]			
	・ 金属系アンカー			
	・ 引張耐力 ・ kN ・ 図示による ()			
	・ せん断耐力 ・ kN ・ 図示による ()			
	アンカー本体の径及び埋込み長さ			
	・ 図示による ()			
	セット方式 ※ 本体打込み式改良型			
	接合部の種類、径、長さ			
	・ 図示による ()			
	性能確認試験			
試験方法及び試験数				
・ 図示による ()				
○ 接着系アンカー	接着系アンカー [8.12.4]			
	・ 引張耐力 ・ kN ・ 図示による ()			
	・ せん断耐力 ・ kN ・ 図示による ()			
	アンカーの種類 ※ カブル方式回転打撃式			
	接着剤の品質			
	○ 有機系 ・ 無機系			
	アンカー本体の径及び埋込み長さ			
	・ 図示による () ○ 150mm以上			
	アンカー径の種類			
	○ アンカー径の新設壁内への定着の長さ			
・ 図示による () ○ 400mm以上				
性能確認試験				
試験方法及び試験数				
・ 図示による ()				
○ 穿孔	埋込み配管等の探査方法 [8.12.4]			
	○ 鉄筋探知器 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う			
	・ はつり出しによる			
	○ 施工確認試験	試験方法 [8.12.7]		
		※ 引張試験による引張試験		
		確認強度		
		・ 図示による ()		
		試験箇所数 ()		
		8-4 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 [8.1.5]	
			※ 建築基準法 第68条の25 に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 () グレード以上	
・ 監督職員の承諾する工場				
※ 配置する				
8-1 鉄骨製作工場における施工管理技術者			種類等 [8.2.8]	
	種類の記号		適用箇所 (主要な部分)	
			規格	
			・ JISによる	
			・ JISによる	
			・ JISによる	
		・ JISによる		
		・ JISによる		
		・ JISによる		
		・ JISによる		
8-2 形状及び寸法	形状及び寸法 [8.2.14]			
	・ 図示による			
	8-2 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験	板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 [8.2.14]		
		・ 行う (適用箇所) ・ 行わない		
		8-2 高力ボルト	高力ボルトの種類 [8.2.9][8.13.2][8.14.2][8.14.7]	
			・ トルシア形高力ボルト	
			・ JIS形高力ボルト	
			・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト	
			ボルトの寸法	
			ねじの呼び ・ 図示による	
ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等				
・ 図示による ()				
摩擦面の性能及び処理				
・ すべり試験の実施 (試験方法 ・ すべり係数試験 ・ すべり耐力試験)				
JIS形高力ボルトの締付け (本締め)				
ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量				
・ 図示による				
8-13 溶融亜鉛めっき高力ボルト	溶融亜鉛めっき高力ボルト [8.13.2][8.20.5]			
	ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等			
	・ 図示による ()			
	摩擦面の処理方法			
	・ プラス処理 (表面粗度50µmRz以上)			
	・ リン酸塩処理			
	8-2 溶接材料	溶接材料 [8.2.10]		
		・ 改修標準仕様書表8.2.10(1)(2)による		

工事名称		福山市立加茂中学校校舎 (東側) 便所改修工事	
図面名称		建築改修工事特記仕様書 No-7	
縮尺率	図面No		
A1=100%	7		
A2=71%	23		
A3=50%			

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項									
8-12 耐震改修工事 (単工種工事)	既存杭の撤去等	撤去範囲及び撤去方法 ・ 図示による () 既存杭の杭頭部等の処理 ・ 図示による () 既存杭の補強 ・ 図示による () 既存杭の健全性を確認する試験 ・ 図示による ()	[8. 28. 2]	⑩ 環境配慮改修工事	石含有建材の除去工事	○ 石含有建材除去後の仕上げ工事 ○ 図示による ・ 石粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点	[9. 1. 1] [9. 1. 1]	断熱・防露改修工事	断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ(mm) ・ フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・ 吹付け厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ(mm) ・ 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質 ・ 厚さ (mm) ・ フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 断熱材に直接ボードの張り付けを行う場合の張付け工法 () 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネルを使用する場合の工法 ()	埋戻し及び盛土 材料及び工法 ・ 材料 () ・ 工法 () ※ 改修標準仕様書表 8. 28. 1 による ・ A種 適用場所 () ・ B種 適用場所 () ・ C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・ D種 適用場所 () 建設発生土の処理 ※ 構外搬出適切処理 ・ 構内指定場所に堆積 ・ 構内指定場所に敷き均し	試験及び報告書 試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 ・ 図示による () ・ 杭の載荷試験 方法 ・ 図示による 試験杭の位置、本数及び載荷荷重 ・ 図示による 報告書の記載事項 ・ () ・ 地盤の載荷試験 方法 ・ 図示による 試験及び載荷荷重 ・ 図示による 報告書の記載事項 ・ ()	杭地業 杭の材料 ・ 図示による 杭の継手の箇所数、材料、工法等 ・ 図示による 杭の工法、種類、寸法、施工方法等 ・ 図示による () 支持層の位置及び土質 (基礎ぐいの先端位置含む) ・ 図示による () 杭の溶接継手 技能資格者の技量 ・ 図示による () 溶接部の確認 ・ 図示による () 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による () 支持層への根入れ長さ ・ () 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 評定等の評価内容による 記録する施工状況等 ・ 図示による ()	砂利地業 材料 ・ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 砂利厚さ ※ 60mm 範囲 ・ 図示による ()	砂地業 材料(シルト、有機物等の混入しない締固めに適した砂) ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕石 砂厚さ ※ 60mm 範囲 ・ 図示による ()	捨コンクリート地業 捨コンクリートの厚さ ※ 50mm コンクリートの類別 ・ I類 ・ II類 コンクリートの種類 ・ ※ 普通コンクリート 設計基準強度 ※ 18N/mm2 スランプ ※ 15cm又は18cm	⑪ 外断熱改修工事	断熱材 断熱材の種類 ・ 断熱材の厚さ(mm) ・ 外装材 種類 防火性能 備考 既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 不陸等の下地調整 ・ 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 透気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示による	断熱・防露改修工事 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ(mm) ・ フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・ 吹付け厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ(mm) ・ 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質 ・ 厚さ (mm) ・ フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 断熱材に直接ボードの張り付けを行う場合の張付け工法 () 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネルを使用する場合の工法 ()	屋上緑化改修工事 材料 芝及び地被類の種類等 ※ 図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による かん水装置 ・ 設置する(種類) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した芝及び地被類の植補償の期間 ※ 引渡しの日から1年 ・ 既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示による 路床 路床の材料 種類 材料 厚さ(mm) ・ 盛土 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 図示による ・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ ・ フィルター層 ・ 砂 ・ 図示による 凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 路床安定処理 安定処理の方法 ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号) 試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない 路盤 路盤の厚さ ・ 図示による 路盤材料 ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 ・ 図示による 舗装の平坦性 ※ 著しい不陸がないもの ・ 間粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない	[9. 3. 2] [9. 3. 3] [9. 3. 4] [9. 3. 4] [9. 4. 2] [9. 4. 3] [9. 4. 4] [9. 4. 4] [9. 5. 2] [9. 5. 3] [9. 5. 4] [9. 5. 4] [9. 5. 5] [9. 5. 9]

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
③	埋戻し及び盛土	材料及び工法 ※ 標準仕様書 表 3.2.1による ・ A種 施工箇所 () ・ B種 施工箇所 () ・ C種 施工箇所 () 土質 () ・ D種 施工箇所 () 建設発生土の処理 処理 (3.2.5) ・ 構外搬出 (搬出先:) ・ 構内指定場所に堆積 (構内指定場所に敷均し)	4	現場打ちコンクリート杭地業 材料その他 (4.5.4) 鉄筋の種類 (4.5.4)(5.2.1) 種類記号 呼び径 (mm) 備考 ・ S0295 ・ S0345 帯筋の加工及び組立 (4.5.4) ・ 示による 鉄筋の最小かぶり厚さ (4.5.4) ・ 100mm 鉄筋かごの補強 (4.5.4) ・ 示による 組み立てた鉄筋の節ごとの継手 (4.5.4)(5.3.4) ※ 重ね継手 ※ 重ね継手の長さ ※ 標準仕様書 表 5.3.2による 主筋の基礎底値への定着長さ (4.5.4)(5.3.4) ・ 示による セメントの種類 (4.5.4) ※ 高炉セメントB種 コンクリートの設計基準強度 (F _c) (4.5.4) ・ 示による コンクリートの種類 (4.5.4)(表 4.5.1) ・ A種 ・ B種 ・ 評定等の内容による スランブ (4.5.4) ※ 21cm ・ 18cm ・ () cm 構造体強度補正值 (S) (4.5.4) ※ 3N/mm ² ・ 示による ・ 評定等の内容による 鋼材部分の材料 (4.5.1) (4.5.4~4.5.6) 工法 ・ アースドリル工法 ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 現場打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管の種類 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ 底底杭工法 杭の支持層への根入れ長さ ・ 示による 杭の水平方向の位置ずれ精度 ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 孔壁の確認 (超音波測定器による) ・ 行う 測定箇所 ・ 試験杭 () 箇所、本杭 () 箇所 材料 (4.6.2) ○ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 砂利地業の厚さ (4.6.3) ※ 60mm 範囲 ○ 基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下、土間コンクリート下 ・ 示による 砂地業 (4.6.2) 材料 ・ シルト ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 砂地業の厚さ (4.6.3) ※ 60mm 範囲 ○ 示による 捨コンクリート地業 (4.6.4) 捨コンクリートの厚さ ※ 50mm ・ 示による 基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下 ・ 示による コンクリートの種類 (4.6.4)(6.14.1) ※ 普通コンクリート 標準仕様書 表 6.2.1以外のコンクリートを用いる場合 (4.6.4)(6.14.1) ・ 示による 設計基準強度 (4.6.4)(6.14.1) ※ 18N/mm ² スランブ (4.6.4)(6.14.1) ※ 15cm又は18cm 防湿層 (4.6.5) ・ 適用する 材料 (4.6.2) ※ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 範囲 (4.6.5) ○ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く) ・ 示による 材料 (4.7.2) 固化材の種類 ・ セメント固化材 (4.7.3) 工法 方式 ※ 機械攪拌方式 改良体の設計基準強度 (F _c)、改良体長さ、改良率、改良体幅 ・ 示による	5	地盤改良 (洗層混合処理工法) (4.8.2) 材料 (4.8.2) 固化材の種類 ・ セメント固化材 (4.8.3) 工法 (4.8.3) 方式 ※ 原位置混合方式 改良体の設計基準強度 (F _c)、改良対象土、改良範囲、改良長さ ・ 示による 固化材の配合量を決定するための対象とする地層 ・ 示による 室内配合試験における一軸圧縮試験の供試体数 ・ 示による 特殊な地盤等での試験施工 ・ 示による 改良工事完了後の試験 一軸圧縮試験の検査対象、コア採取方法、供試体数、検査方法 ・ 示による 六価クロム溶出試験 ・ 適用する ・ 適用しない 材料 (4.8.2) 固化材の種類 ・ セメント固化材 (4.8.3) 工法 (4.8.3) 方式 ※ 原位置混合方式 改良体の設計基準強度 (F _c)、改良対象土、改良範囲、改良長さ ・ 示による 固化材の配合量を決定するための対象とする地層 ・ 示による 室内配合試験における一軸圧縮試験の供試体数 ・ 示による 改良工事完了後の試験 一軸圧縮試験の検査対象、コア採取方法、供試体数、検査方法 ・ 示による 六価クロム溶出試験 ・ 適用する ・ 適用しない	6	溶接継手 (5.5.5) 施工完了後の継手部の試験 (5.5.5) 外観試験 試験項目及び合格判定 ※ 標準仕様書 表 5.5.1~表 5.5.3による ・ 示による 外観試験で不合格となった場合の措置 (5.5.6) ※ 標準仕様書 5.5.6 (1) による ・ 示による 超音波測定試験 試験対象 ・ 示による 超音波測定試験で不合格となった場合の措置 (5.5.6) ・ 示による 工法 (5.6.3) 適用箇所 ・ 示による 平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 (5.6.3) ・ A級 溶接継手の工法 (5.6.3) ・ 示による 鉄筋相互のあき (5.6.3) ・ 示による			
		既製コンクリート杭地業 (4.3.3) 材料 (4.3.3) 杭の種類 ・ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭) ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC杭) ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭 (SC杭) SC杭の鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490 杭の性能及び曲げ強度等による区分等 ・ 示による 杭の寸法、継手の箇所数等 ・ 示による 杭先端部形状 (4.3.3) ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉そく形 工法 (4.3.1)(4.3.5) ・ セメントミルク工法 (4.3.1) (4.3.4) 掘削深さ ・ 示による 杭の支持層への根入れ長さ ・ 示による 杭の水平方向の位置ずれ精度 ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 根固め液及び杭周囲定液の管理試験 ※ 標準仕様書 4.3.4 (6) (コ) による 特定埋込杭工法 (4.3.1)(4.3.5) ・ プレポーリング拡大根固め工法 ・ 中継り拡大根固め工法 ・ 平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法 ・ 平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式のうち、α、β、γが以下の値を採用できる工法 α=()、β=()、γ=() 継手 (4.3.3)(4.3.6)(7.2.5) 杭の継手の工法 (4.3.3)(4.3.6)(7.2.5) ・ 溶接継手 溶接材料 ・ 標準仕様書 7.2.5 (1) (2) による ・ 機械式継手 杭頭の処理 (4.3.8) ・ 処理する ・ 処理しない 処理方法 (切断に伴う補強方法含む) ・ 示による 鋼杭地業 (4.4.3) 材料 (4.4.3) 鋼杭の材料 ・ 示による 工法 (4.3.5)(4.4.4) 特定埋込杭工法 (4.3.5)(4.4.4) ・ 中継り拡大根固め工法 ・ 平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法 ・ 平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式のうちα、β、γが以下の値を採用できる工法 α=()、β=()、γ=()							⑥ ○ コンクリートの種類 (6.2.1)(表 6.2.1) ※ I類 (JIS A 5308へ適合を認証されたコンクリート) ・ II類 (JIS A 5308に適合したコンクリート) ○ 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4)(表 6.2.2) 設計基準強度 (N/mm ²) スランブ (cm) 適用箇所 ・ 21 ※ 15又は18 基礎、基礎梁、土間スラブ、床下地 ・ 21 ※ 18 柱、梁、スラブ、壁 ・ 軽量コンクリート (6.2.1)(6.10.2) ・ 建築基準法第37条第2号の規定に基づき認定を受けたコンクリート (6.2.1) 適用箇所 () 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(表 6.2.4) 種別 適用箇所 ・ A種 ・ 示による ・ B種 ・ 示による ・ C種 ・ 示による コンクリートの仕上げの平たんさ (6.2.5)(表 6.2.5) 種別 適用箇所 ・ a種 ・ 示による ・ b種 ・ 示による ・ c種 ・ 示による ○ セメント種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※ 下記以外全て) ・ 高炉セメントB種 適用箇所 () ・ フライアッシュセメントB種 適用箇所 () ・ 普通エコセメント 適用箇所 () ○ 骨材 (6.3.1) フェロニッケル系スラグ骨材、鋼スラグ骨材及び電気炉酸系スラグ骨材 (6.3.1) ・ 適用する 適用箇所 () ・ 適用しない 再生骨材H (普通エコセメントを使用するコンクリート) (6.3.1) ・ 適用する 適用箇所 () ・ 適用しない アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※ A ・ B ○ 混和材料 (6.3.1) 混和材料の適用及び種類 (6.3.1) ○ 混和剤 混和剤の種類 ※ 標準仕様書 6.3.1 (4) (a) による ○ 混和材 (6.3.1) 混和材の種類 ※ 標準仕様書 6.3.1 (4) (b) による 標準仕様書 6.3.2 (イ) (フ) の①~③以外の混和材料 (6.3.2) 使用方法及び使用量 ※ 監督職員の承認による ○ コンクリートの調合 (6.3.2) 調合管理強度 構造体強度補正值 (S) ※ 標準仕様書 表 6.3.2による ○ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※ スパンの中央又は端から1/4の付近 ・ 示による 柱及び壁 ※ スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・ 示による 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ※ 標準仕様書 9.7.3 (1) (ア) による ・ 示による ひび割れ誘発目地の位置、形状 ・ 示による		

工事名称 福山市立加茂中学校校舎(東側)便所改修工事	
図面名称 建築工事特記仕様書 No-1	尺度 図示
 福山市建設局建築部営繕課	縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%
	図面No 9
	23

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
19	内装工事	見切り、押え金物 ・ 適用する(材質、形状等) ・ 図示による ・ 適用しない タイルカーベットの敷き方 平場 ※ 市松敷き ・ 横積流し 階段部分 ※ 横積流し ・ 市松敷き	パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ボード表面への化粧仕上げの有無 ・ 有り(種類:) 天井のボードの重ね張りの張り付け方法 (ロックワール吸音板を除く) () せつこうボードの目地工法 () 種類 ・ 継目処理工法 ・ 突付け工法 ・ 目通し工法 せつこうボードのエッジの種類(突付け工法、目通し工法の場合) ・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ	移動間仕切	材料及び性能等 (20.2.4) 操作による種類 ・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式 圧接装置の操作方式 ・ フッシュ式 ・ ハンドル式 パネル表面材 材質 仕上げ 鋼板 鋼板張り 適音性能 (dB/500Hz) ・ 36未満 ・ 36以上	合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 種類 (19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1~表19.4.8) 種類 工法 仕上げの種類 施工箇所 ・ 厚膜型塗床材(弾性ウレタン樹脂系塗床材) ※ 平滑仕上げ 防汚仕上げ ・ 厚膜型塗床材(エポキシ樹脂系塗床材) ・ 薄膜流しのペ工法 ・ 平滑仕上げ 防汚仕上げ ・ 薄膜型塗床材(エポキシ樹脂系塗床材) ・ 樹脂モルタル工法 ※ 平滑仕上げ	ハンガーレールの取付け下地 ※ 標準仕様書20.2.3(ウ)による ハンガーレール ※ 標準仕様書20.2.4(3)(エ)による ランナー ※ 標準仕様書20.2.4(3)(オ)による パネルをランナーに取り付ける部品 ※ 標準仕様書20.2.4(3)(カ)による あと施工アンカー (使用する(種類: 材質: 寸法:) ・ 使用しない	カーテンレール 材料等 (20.2.16) レール及びブラケットの強さによる区分 ※ 10-90 レールの材料による区分 ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押し成型材 ・ ステンレス製 レールの仕上げ ※ アルマイト レールの形状 ※ 角形 カーテン付属物 フック(ひるかん) ※ 鋼製 ・ 樹脂製			
									フロ어링張り	フロ어링のホルムアルデヒド放散量 ※ 標準仕様書19.5.2(2)による 単層フロ어링 (19.5.2~19.5.5) 種類 工法 樹種 厚さ、幅及び長さ ・ フロ어링ボード1等 ・ フロ어링ブロック1等	トイレブス
	量敷き	種類 ・ A種 (量表: JS ・ B種 ・ C種 (量床: PS-G20 PS-G25 PS-G30) ・ D種 (量床: KT-I KT-II KT-III KT-K KT-N) 衝撃緩和型量 量表 (JIS A5902) C1 C2	合板のホルムアルデヒド放散量 ※ 標準仕様書19.7.2(2)(イ)のいずれかによる 合板の張付け A種 B種 ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着剤 ※ F☆☆☆☆ 種類 (19.8.2) 壁紙の種類 (19.8.2) 防火性能 備考	手すり	パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 材料の種類 (20.2.6) 仕上げ 材料等 (20.2.7) 材種 形状 寸法(mm) 取付け方法 ・ ステンレス製(SUS304) ・ ひも状 ※ 接着工法 ・ 黄銅製押出型材 ・ タイヤ型 ・ 埋込み工法 ・ アルミニウム製押出型材	間知石及びコンクリート間知ブロック積み 材料等 (20.4.2) ・ 間知石 ・ 花こう岩 ・ 凝灰岩 ・ コンクリート間知ブロック 工法 (20.4.3) 積み方 ※ 谷積み ・ 布積み 目塗り ・ 図示による 伸縮調整目地 材種 ・ 図示による 厚さ ・ 図示による					
							せつこうボード、その他ボード及び合板張り	材料 (19.7.2)(表19.7.1) 規格名称 種類 厚さ(mm)等 ・ 硬質木毛セメント板 ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 中質木毛セメント板 ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 普通木毛セメント板 ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 硬質木片セメント板 ・ 12 ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 普通木片セメント板 ・ 30 繊維強化セメント板 火山性ガラス質複層板 (VSボード) ・ けい酸カルシウム板 タイプ2(無石綿) ・ 6 ・ 8 ・ 火山性ガラス質複層板 ・ 図示による 繊維板 ・ ミディアムデンシティファイバーボード(MDF) ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ ハードボード(素地) ・ 研磨板 (スタンダード・テンパード) ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ ハードボード(化粧) ・ 内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ インシュレーションボード ・ 単板張りパーティクルボード ・ 化粧パーティクルボード パーティクルボード ・ 単板張りパーティクルボード ・ 化粧パーティクルボード ・ 単板オーバーレイ ・ プラスチックオーバーレイ ・ 塗装 ・ 10 ・ 12 吸音材料 ・ ロックウール化粧吸音板 ・ フラットタイプ (9(不燃) 12(不燃)) ・ 凹凸タイプ (9(不燃) 12(不燃)) ・ ロックウール吸音ボード1号 ・ 25 ・ グラスウール吸音ボード32K ・ 25(ガラスクロス色) せつこうボード製品 ・ せつこうボード ・ 12.5(不燃) 15(不燃) ・ 不燃積層せつこうボード ・ 化粧無(下地張り用) ・ 化粧有(トラバーチン模様) ・ 9.5(不燃) ・ シーゾングせつこうボード ・ 12.5(不燃) ・ 強化せつこうボード ・ 12.5(不燃) 15(不燃) ・ せつこうラスボード ・ 9.5 ・ 化粧せつこうボード(木目) ・ 化粧無(板目) ・ 専用下地材張り ・ 12.5(不燃) 幅440mm程度 ・ 化粧せつこうボード(トラバーチン模様) ・ 9.5(準不燃)	断熱材 断熱材打込み工法 (19.9.3) 種類 厚さ(mm) 施工箇所 断熱材名 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし) ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ フェノールフォーム断熱材 フェノールフォームを使用した断熱材及び開口部等補修のための張付け用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 断熱材現場発泡工法 (19.9.4) 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 取付け厚さ ・ mm 施工箇所 ・ 図示による	材料等 (20.2.2) フリーアクセスフロア 材料等 (20.2.3) 構造形式による種類 構成基材の種類 パネル表面仕上げ 適音性能 (dB/500Hz) ・ スタッド式(内蔵) ・ スタッド ・ パネル ・ メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付 ・ スタッド式(露出) ・ 20 ・ スタッドパネル式 ・ 壁紙張り ・ パネル式 ・ 28 ・ 36 パネルの材料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ パネル内に取付ける建具 パネルの有り(寸法及び形状: 図示による) ・ 無し	材料等 (20.2.15) 材質 品質 操作方式 幅、高さ 取付箇所 ・ ポリエステル ・ 電動式 ・ 図示 ・ スプリング式 ・ チェーン式 巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※ 製造所の仕様による
		材料 (19.6.2)(表19.6.1) ・ A種 (量表: JS ・ B種 ・ C種 (量床: PS-G20 PS-G25 PS-G30) ・ D種 (量床: KT-I KT-II KT-III KT-K KT-N) 衝撃緩和型量 量表 (JIS A5902) C1 C2	合板のホルムアルデヒド放散量 ※ 標準仕様書19.7.2(2)(イ)のいずれかによる 合板の張付け A種 B種 ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着剤 ※ F☆☆☆☆ 種類 (19.8.2) 壁紙の種類 (19.8.2) 防火性能 備考	手すり	パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 材料の種類 (20.2.6) 仕上げ 材料等 (20.2.7) 材種 形状 寸法(mm) 取付け方法 ・ ステンレス製(SUS304) ・ ひも状 ※ 接着工法 ・ 黄銅製押出型材 ・ タイヤ型 ・ 埋込み工法 ・ アルミニウム製押出型材	間知石及びコンクリート間知ブロック積み 材料等 (20.4.2) ・ 間知石 ・ 花こう岩 ・ 凝灰岩 ・ コンクリート間知ブロック 工法 (20.4.3) 積み方 ※ 谷積み ・ 布積み 目塗り ・ 図示による 伸縮調整目地 材種 ・ 図示による 厚さ ・ 図示による					

工事名称
福山市立立茂中学校校舎(東側)便所改修工事

図面名称
建築工事特記仕様書 No-3

縮尺率
A1=100%
A2=71%
A3=50%

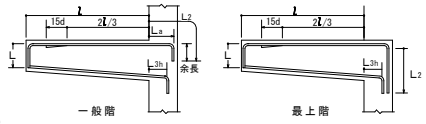
図面No
11/23

福山市建設局建築部営繕課

鉄筋工事仕様書 No. 2

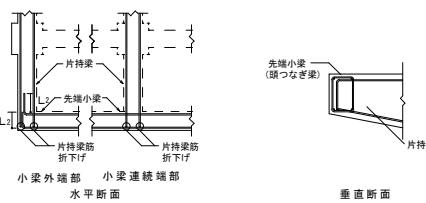
2. 片持梁主筋の継手、定着及び余長

1) 先端に小梁のない場合



- (注)
- 印は、余長位置を示す。
 - 先端の折曲げ長さは、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。
 - 図示のない事項は、大梁の項による。
 - L1の数は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

2) 先端に小梁がある場合



- (注)
- 図示のない場合は、先端に小梁のない場合の項による。
 - 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
 - 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

壁及びその他の配筋

1. 壁の基準配筋

1) 壁の基準配筋は下図による。

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	150
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	180
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	200

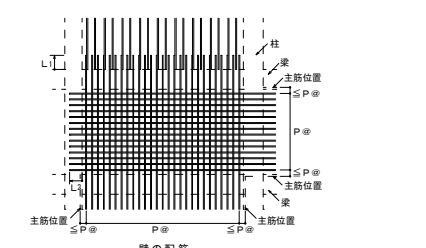
(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

2) 片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋は下図による。

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋種別
KW1	縦筋 D13-200@ダブル	180	KA1 KA3
	横筋 D10-200@ダブル		
KW2	縦筋 D13-150@ダブル	200	KA2 KA4
	横筋 D10-200@ダブル		

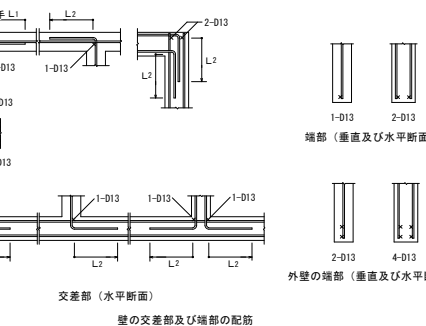
(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

2. 壁の継手及び定着



- (注)
- 図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。
 - 壁配筋の重ね継手はL1、定着長さはL2とする。
 - 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
 - 原則として、柱及び梁内に、壁筋の継手を設けてはけない。

3. 壁の交差部及び端部の配筋は、下図による。

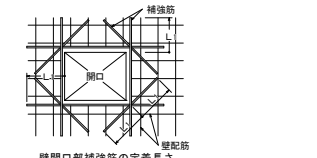


4. 壁開口部の補強

1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形又はB形とする。

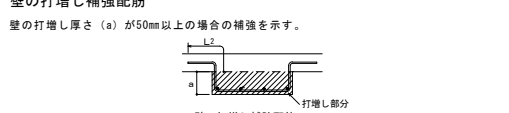
壁開口部補強筋 (A形)			壁開口部補強筋 (B形)		
壁の種類	補強筋		壁の種類	補強筋	
W12, W15	縦筋	斜め	W12, W15	縦筋	斜め
	1-D13	1-D13		2-D13	1-D13
W18, W20	2-D13	2-D13	W18, W20	4-D13	2-D13

2) 壁開口部補強の定着長さは、下図による。

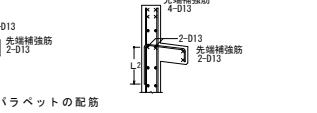


3) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げるにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

5. 壁の打増し補強配筋



6. パラベットの配筋



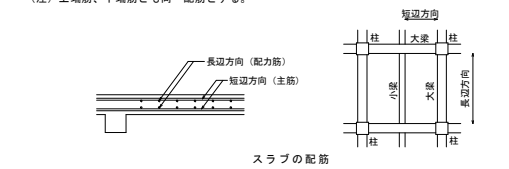
スラブの配筋

1. スラブの基準配筋

1) スラブの基準配筋

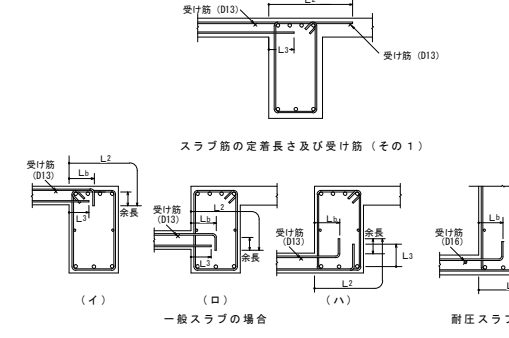
スラブの基準配筋		スラブの基準配筋			
配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配力筋) 全域	配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配力筋) 全域
S 1	D13-100@	D13-100@	S 8	D10, D13-150@	D10-150@
S 2	同上	D13-150@	S 9	同上	D10-200@
S 3	同上	D10, D13-150@	S 10	D10, D13-200@	D10, D13-200@
S 4	D13-150@	D13-150@	S 11	同上	D10-200@
S 5	同上	D10, D13-150@	S 12	同上	D10-250@
S 6	同上	D10-150@	S 13	D10-200@	D10-200@
S 7	D10, D13-150@	D10, D13-150@	S 14	同上	D10-250@

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。



- 配筋の削付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
- 鉄筋の重ね継手長さは、L1とする。

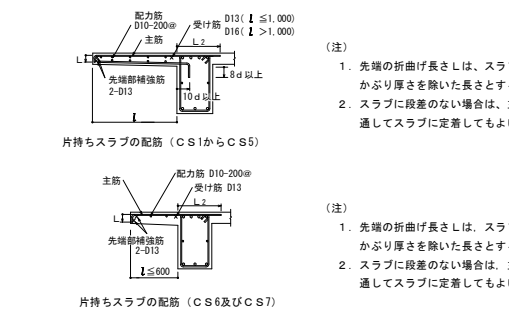
2. スラブ筋の定着及び受け筋



3. 片持ちスラブの基準配筋

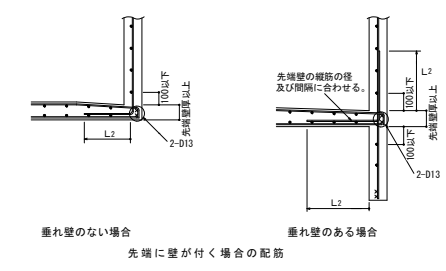
1) 片持ちスラブの基準配筋

片持ちスラブの基準配筋			
配筋種別	主筋	配筋種別	主筋
CS1	上 D13-100@	CS5	上 D10-200@
	下 D13-200@		下 D10-400@
CS2	上 D13-150@	CS6	上 D10, D13-200@
	下 D13-300@		下 —
CS3	上 D10, D13-150@	CS7	上上 D10-200@
	下 D10, D13-300@		下 —
CS4	上 D10, D13-200@		
	下 D10-200@		



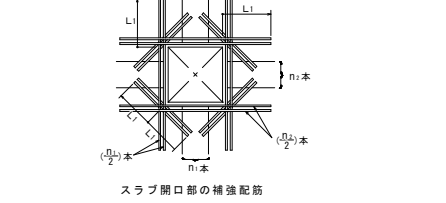
- (注)
- 先端の折曲げ長さは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
 - スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。
- (注)
- 先端の折曲げ長さは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
 - スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

4. 先端に壁が付く場合の配筋は、下図による。



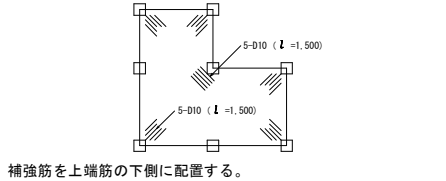
5. スラブ開口部の補強 (スラブ開口部の最大径が700mm以下の場合に限る。)

- スラブ開口部によって切られる鉄筋と同量の鉄筋を周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (L=2L1) シングルを上下筋の内側に配筋する。
- スラブ開口部の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。



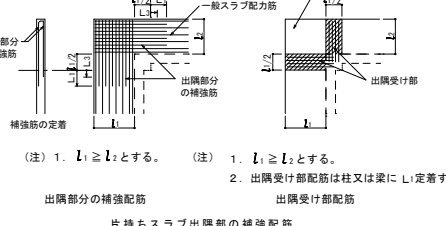
6. 屋根スラブの補強

屋根スラブの出隅部及び入隅部

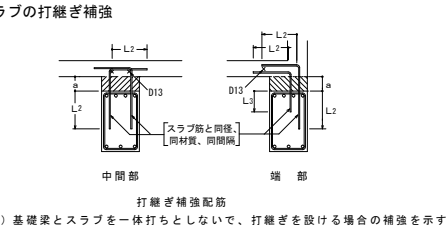


7. スラブの打継ぎ補強等

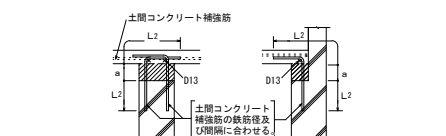
1) 土間スラブの打継ぎ補強



2) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋



8. 段差のあるスラブの補強



9. 階段の配筋

1. 片持ちスラブ形階段

片持ちスラブ形階段の基準配筋			
配筋種別	KA 1	KA 2	階段の配筋種別
配筋図			階段の配筋種別
配筋種別	KA 3	KA 4	階段の配筋種別
配筋図			階段の配筋種別

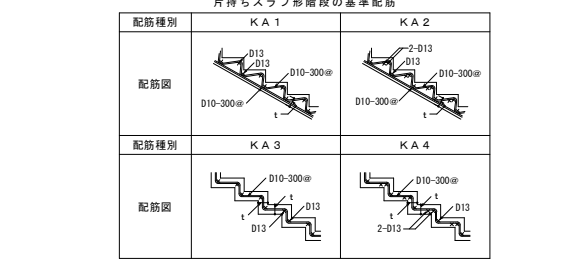
2. 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段の基準配筋			
配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)	配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)
KB 1	D13-200@	KB 5	D16-150@
KB 2	D13-150@	KB 6	D16-125@
KB 3	D13-100@	KB 7	D16-100@
KB 4	D13, D16-150@		

梁貫通孔及びその他の配筋

1. 梁貫通孔の配筋

- 梁貫通孔補強筋の名称等は、下図による。
- 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。
- 孔の上下方向の位置は梁せいの中心付近とし、梁中央部においては梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲に設けてはならない。ただし、耐圧スラブ付きの基礎梁の梁中央部においては、梁上端よりD/3の範囲に孔を設けてはならない。
- 孔は、柱面から、原則として、1.5D (Dは梁せい) 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付梁を除く。
- 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- 縦筋及び上下筋は、あばら筋の形に配筋する。
- 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、下図による。
- 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- 溶接金網の割付け始点は、横筋であばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



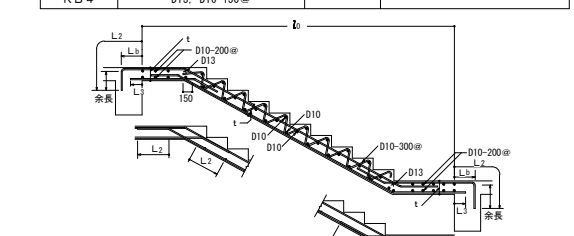
2. 梁貫通孔の補強形式

配筋種別	H形配筋			配筋図
	斜め筋	縦筋	横筋	
H 1	なし	なし	なし	
H 2	2-2-D13	なし	なし	
H 3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H 4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	
H 5	4-2-D16	なし	なし	
H 6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13
H 7	4-2-D22	なし	なし	

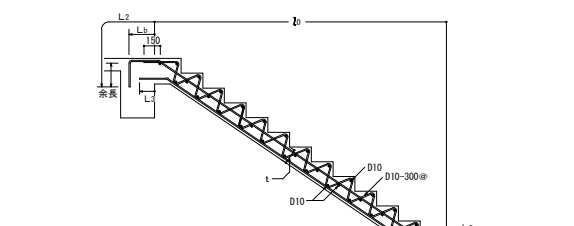
(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

3. コンクリートブロック帳壁との取合い

1) 控壁の配筋



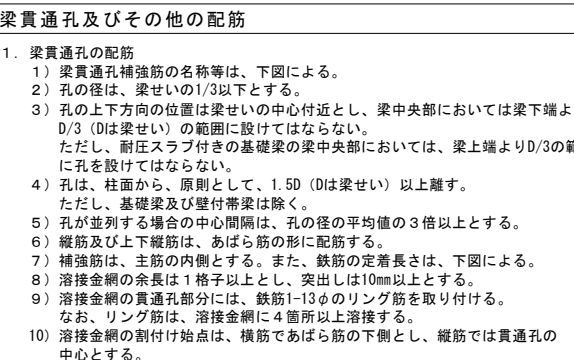
2) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強



3) 梁貫通孔及びその他の配筋

1. 梁貫通孔の配筋

- 梁貫通孔補強筋の名称等は、下図による。
- 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。
- 孔の上下方向の位置は梁せいの中心付近とし、梁中央部においては梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲に設けてはならない。ただし、耐圧スラブ付きの基礎梁の梁中央部においては、梁上端よりD/3の範囲に孔を設けてはならない。
- 孔は、柱面から、原則として、1.5D (Dは梁せい) 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付梁を除く。
- 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- 縦筋及び上下筋は、あばら筋の形に配筋する。
- 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、下図による。
- 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- 溶接金網の割付け始点は、横筋であばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



工事名称

福山市立加茂中学校校舎 (東側) 便所改修工事

図面名称

鉄筋工事仕様書 No. 2

図面 No.

14

日付

2026年4月

訂正

なし

備考

なし

製図者

なし

承認者

なし

検印

なし

製図日

なし

承認日

なし

検印日

なし

製図場所

なし

承認場所

なし

製図者

なし

承認者

なし

検印

なし

製図日

なし

承認日

なし

製図場所

なし

承認場所

なし

製図者

なし

承認者

なし

検印

なし

製図日

なし

承認日

なし

製図場所

なし

承認場所

なし

製図者

なし

承認者

なし

検印

なし

製図日

なし

承認日

なし

製図場所

なし

承認場所

なし

製図者

なし

承認者

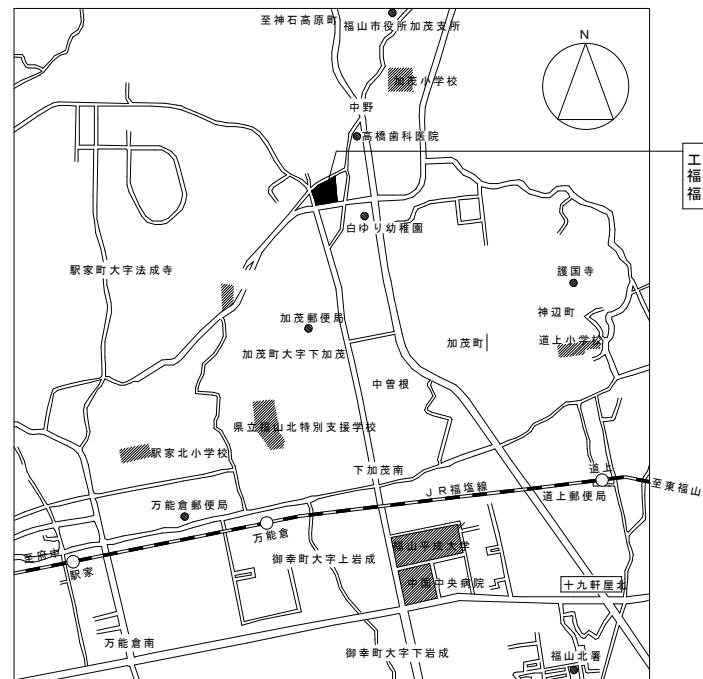
なし

検印

なし

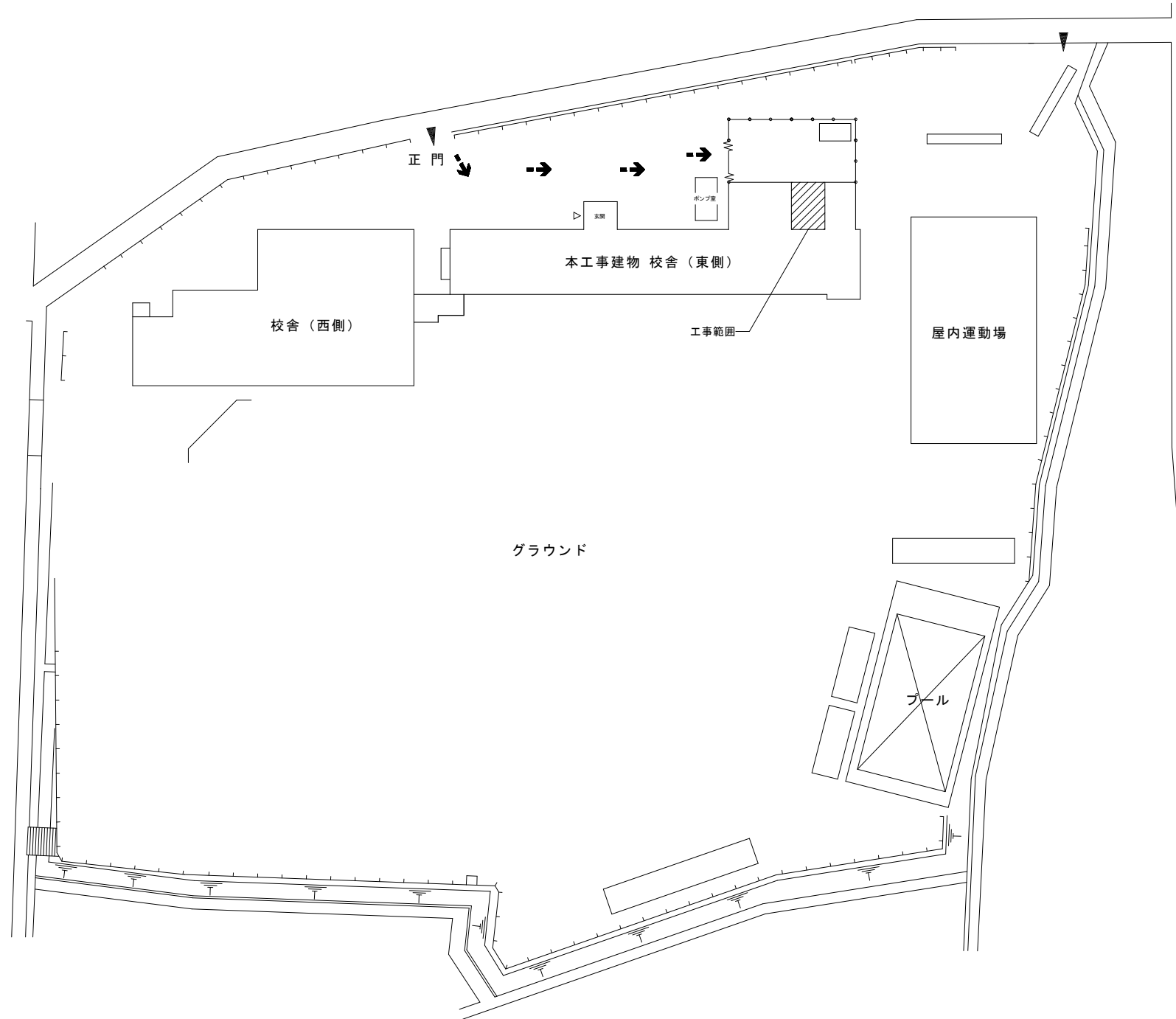
製図日

なし



工事場所：
福山市加茂町大字下加茂 1190番地
福山市立加茂中学校

敷地案内図

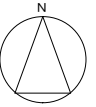


仮設工事凡例

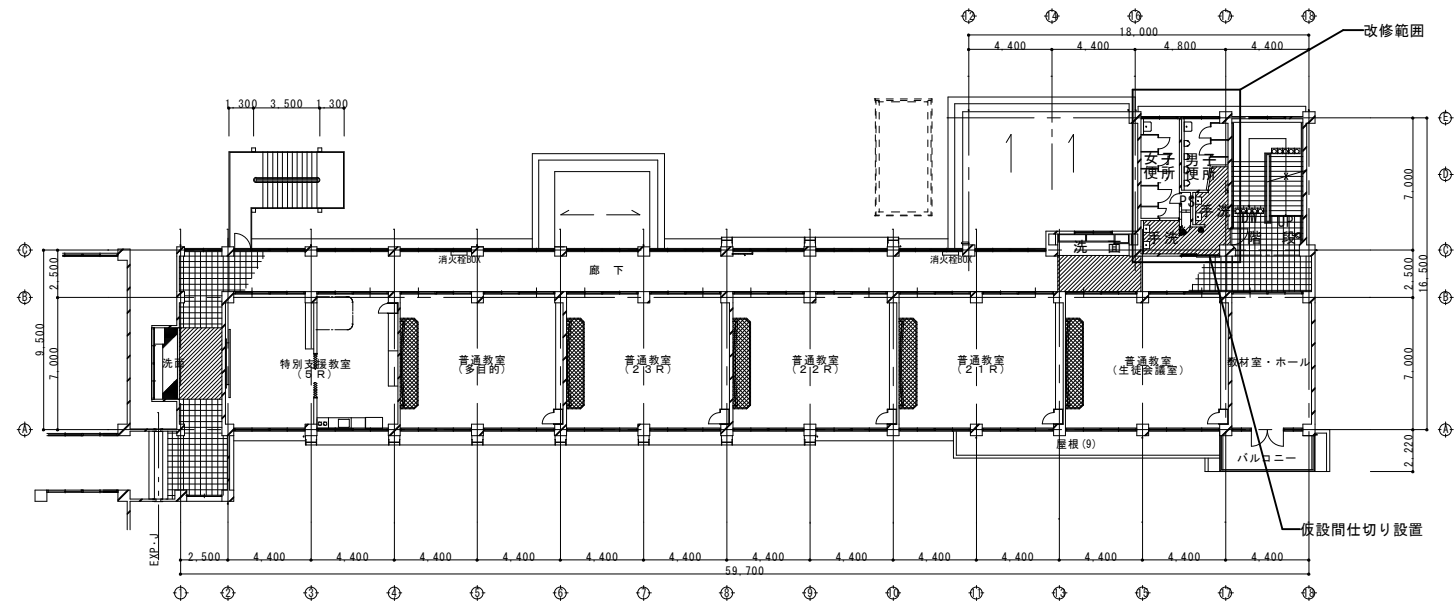
記号	内容
○-○	仮囲い：成形鋼板 H=2000
△△△	キャスターゲート W=6000 H=1800
←■	工事車両進入路

※現場事務所等は、学校と協議の上決定する
搬出入がある時は、適宜安全対策を講じること

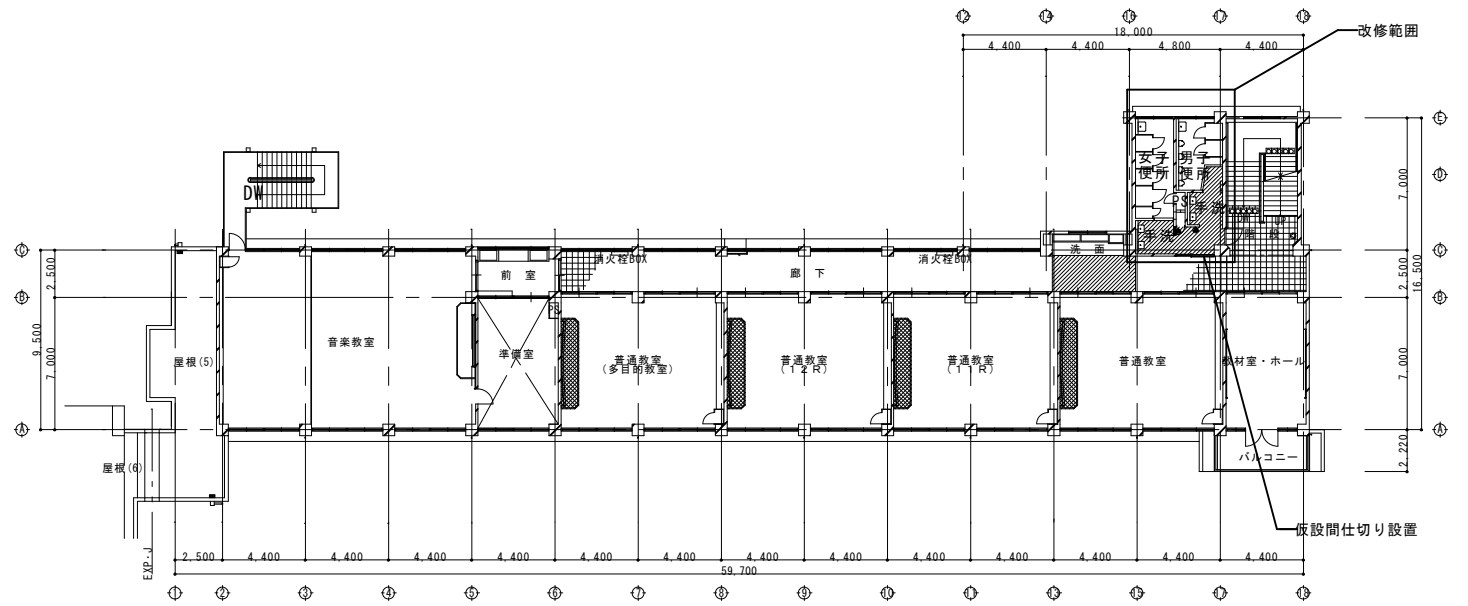
配置図 S=1/400



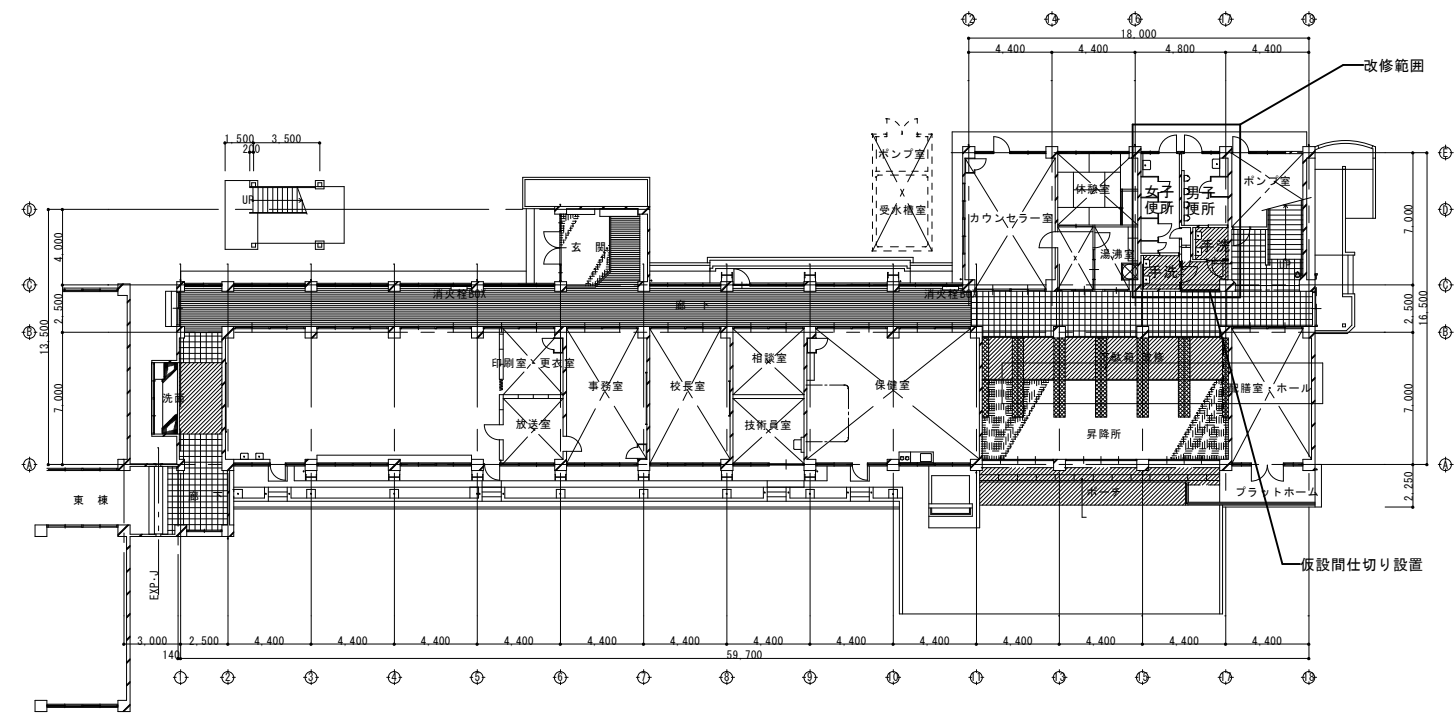
工事名称 福山市立加茂中学校校舎（東側）便所改修工事	
図面名称 敷地案内図、配置図	尺度 図示
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%
	図面No 16
	23



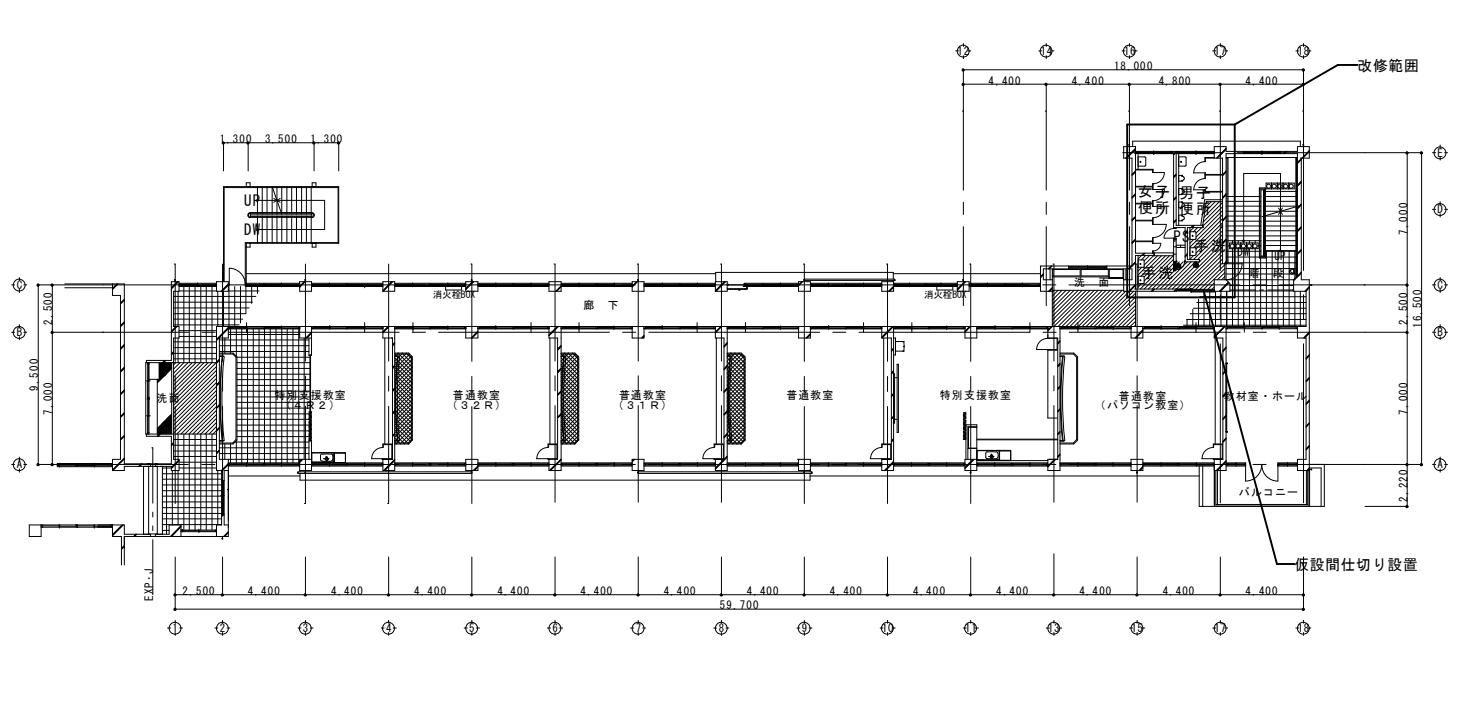
2階平面図 S=1/200




4階平面図 S=1/200

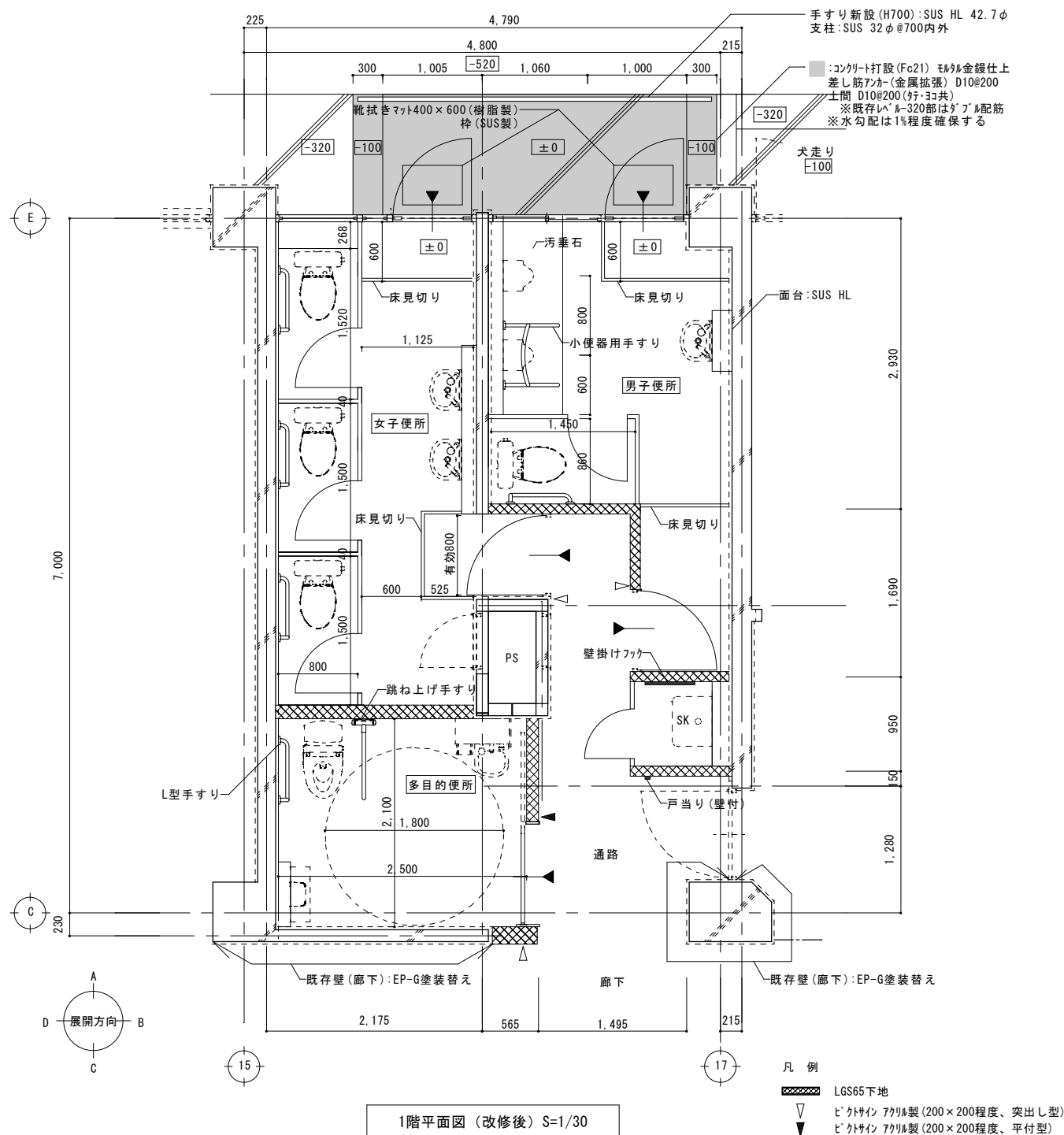
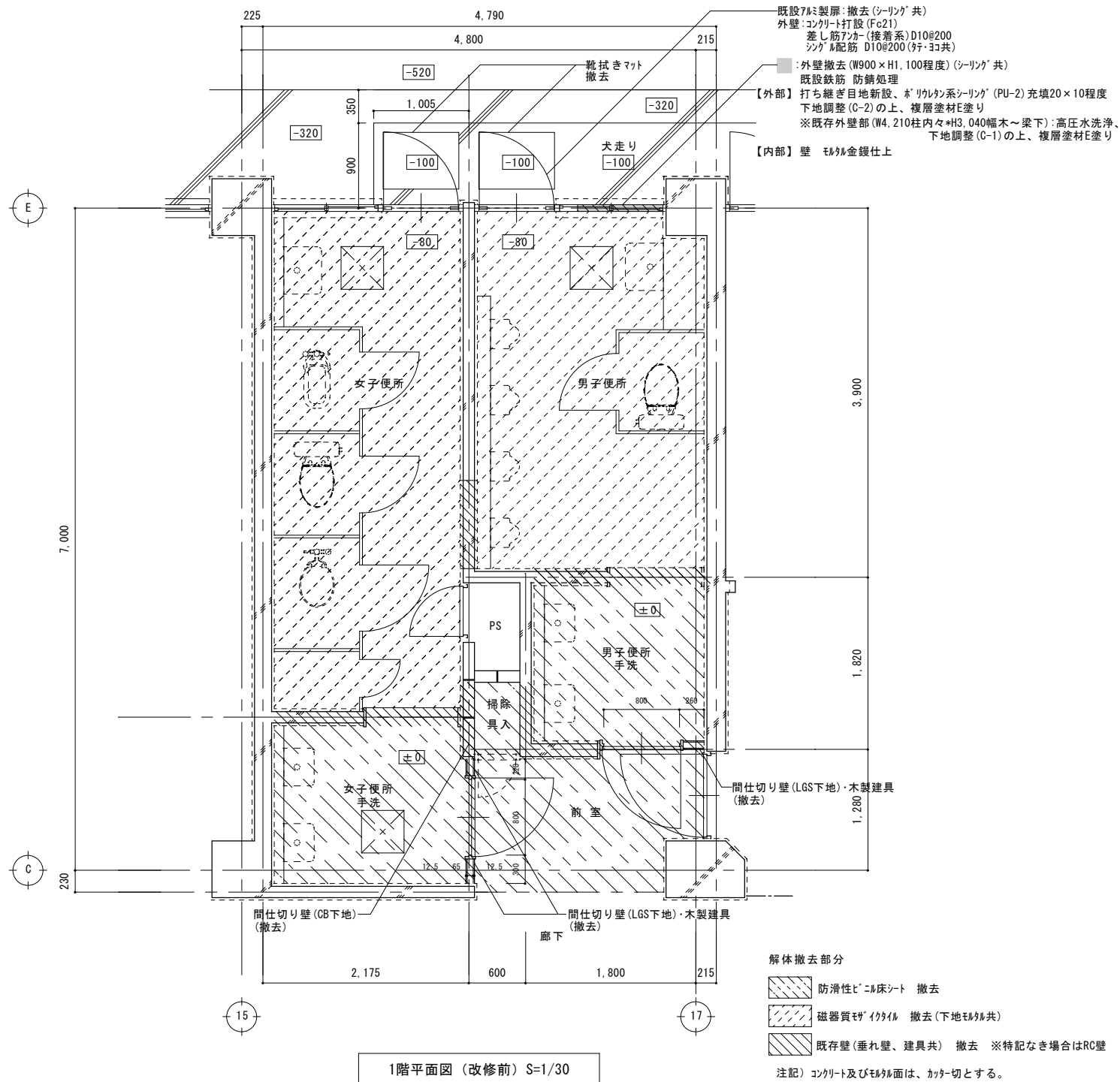


1階平面図 S=1/200



3階平面図 S=1/200

工事名称 福山市立加茂中学校校舎(東側)便所改修工事		尺度
図面名称 1~4階平面図		図示
 福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	図面No
	A1=100%	17
	A2= 71%	23
	A3= 50%	



内部仕上表

室名		床		巾木		壁		天井		天井高	廻縁	備考
		下地	仕上	床仕上げレベル	仕上	下地	仕上	下地	仕上			
男子便所	既存	コンクリート	防滑性ビニル床シート t=2.5(撤去) 磁器質セラミックタイル張り(撤去、下地モルタル共)	±0 -80	ビニル幅木 H100(撤去)	コンクリート	モルタル下地 EP-G塗 半磁器質100角タイル貼り(一部H1,200手洗部)	LGS (撤去)	化粧石膏ボード t=9.5(撤去) けい酸カルシウム板 t=6.0(底目地) EP-G塗(撤去)	2,600~ 2,640	木製 (撤去)	ビクサイン(撤去)、7mm天井点検口(撤去) 床下点検口(撤去)、金物等(撤去) 隔て板(撤去)
	改修	コンクリート	下地処理の上、防滑性ビニル床シート張り t=2.5 土間コンクリートt=145程度 モルタル金網押入 防滑性床シート貼り t=2.5	±0	床シート巻上げ H100	コンクリート LGS	不良部補修 下地調整の上、化粧タイル板 t=6張り 耐水石膏ボード t12.5 化粧タイル板 t=6張り	LGS	化粧石膏ボード 張り t=9.5	2,520	塩ビ	SUS製枠床下点検口、ラインク 面台(SUS天板) 小便器用手すり、L型手すり、 トイレフース 汚垂石(セラミックタイル t=5)
女子便所	既存	コンクリート	防滑性ビニル床シート t=2.5(撤去) 磁器質セラミックタイル張り(撤去、下地モルタル共)	±0 -80	ビニル幅木 H100(撤去)	コンクリート	モルタル下地 EP-G塗 半磁器質100角タイル貼り(一部H1,200手洗部)	LGS (撤去)	化粧石膏ボード t=9.5(撤去) けい酸カルシウム板 t=6.0(底目地) EP-G塗(撤去)	2,600~ 2,640	木製 (撤去)	ビクサイン(撤去)、7mm天井点検口(撤去) 床下点検口(撤去)、金物等(撤去)
	改修	コンクリート	下地処理の上、防滑性ビニル床シート張り t=2.5 土間コンクリートt=145程度 モルタル金網押入 防滑性床シート貼り t=2.5	±0	床シート巻上げ H100	コンクリート LGS	不良部補修 下地調整の上、化粧タイル板 t=6張り 耐水石膏ボード t12.5 化粧タイル板 t=6張り	LGS	化粧石膏ボード 張り t=9.5	2,520	塩ビ	SUS製枠床下点検口、ラインク 面台(SUS天板) L型手すり トイレフース
多目的便所	既存	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	改修	コンクリート	下地処理の上、防滑性ビニル床シート張り t=2.5	±0	床シート巻上げ H100	コンクリート LGS	不良部補修 下地調整の上、化粧タイル板 t=6張り 耐水石膏ボード t12.5 化粧タイル板 t=6張り	LGS	化粧石膏ボード 張り t=9.5	2,640	塩ビ	ビクサイン:アクリル製(200×200程度、平付型) ビクサイン:面台(SUS天板) L型手すり 跳ね上げ手すり
通路 (前室)	既存	コンクリート	防滑性ビニル床シート t=2.5(撤去)	±0	ビニル幅木 H100(撤去)	コンクリート	モルタル下地 EP-G塗 LGS(撤去) 耐水石膏ボード t12.5 EP-G塗(撤去)	LGS	けい酸カルシウム板 t=6.0(底目地) EP-G塗(撤去)	2,640	木製 (撤去)	-
	改修	コンクリート	下地処理の上、防滑性ビニル床シート張り t=2.5	±0	ビニル幅木 H100	コンクリート LGS	下地調整の上、EP-G塗 耐水石膏ボード t12.5 無石綿ケイ酸カルシウム板 t=6 EP-G塗	LGS	化粧石膏ボード 張り t=9.5	2,640	塩ビ	SUS製枠床下点検口、ラインク 面台(SUS天板) ビクサイン:アクリル製(200×200程度、突出し型)

- ※ 既存トイレフースは一時撤去後、一部新設トイレフースに再利用する(建具表参照)
- ※ その他既設トイレフースは、監督員が指定する施設(福山市内)に移動する
- ※ 別途工事:衛生器具・照明器具・設備器具(鏡・紙巻器)等の撤去及び新設
- ・ 手すり、洗面、SK取付け部には下地補強を行う
- ・ 天井LGS撤去は、天井インサートを除く全てとする
- ・ 既設鉄筋コンクリートのハブリ後は、鉄筋切断面に防錆処理を行う
- ・ 化粧タイル張りの端部及びジョイント部は、7mm製ジョイナーを使用する
- ・ 床下ビクサインの清掃を行う

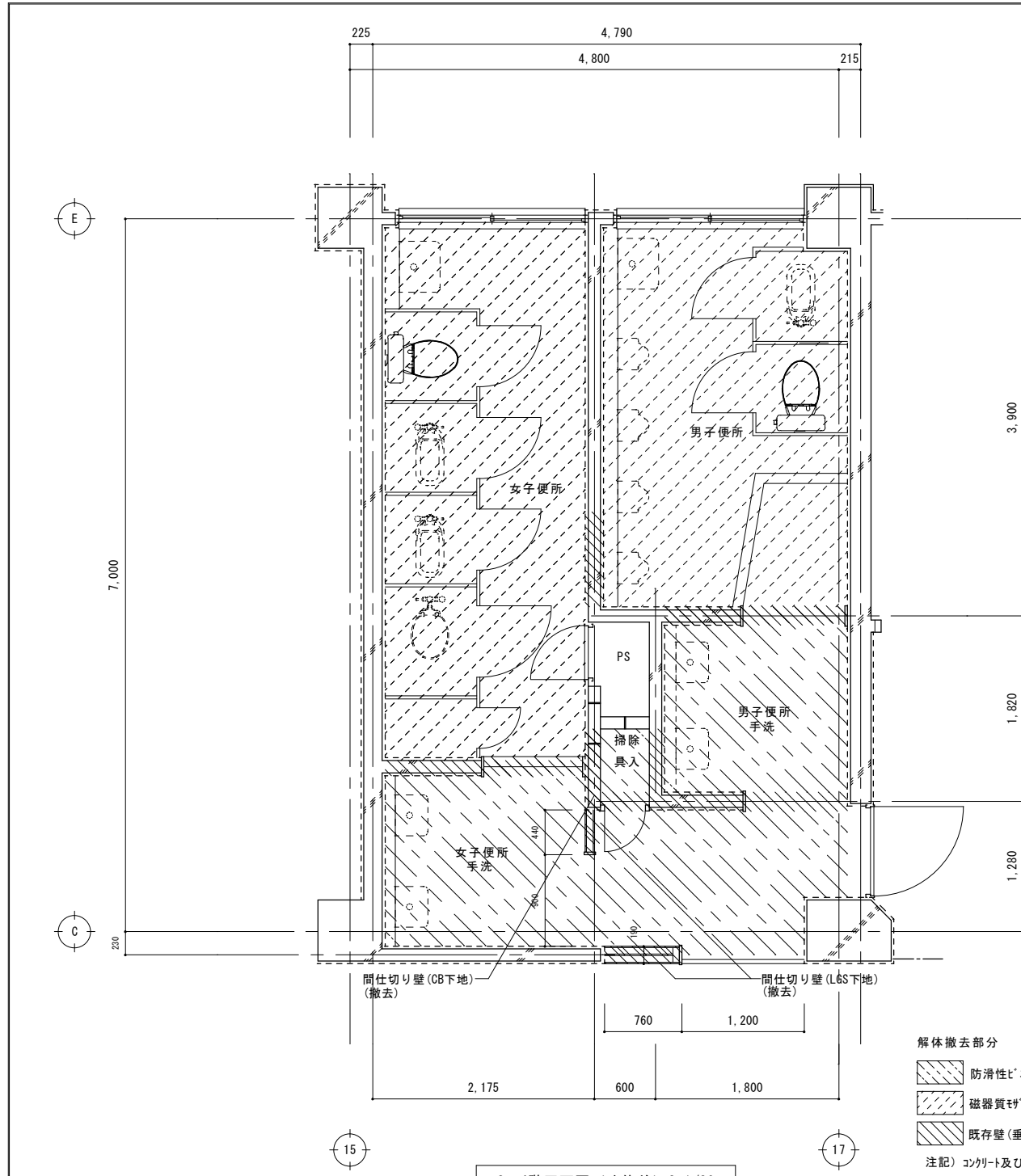
工事名称
福山市立立茂中学校校舎(東側)便所改修工事

図面名称
1階平面図詳細図(改修前・改修後)・仕上表

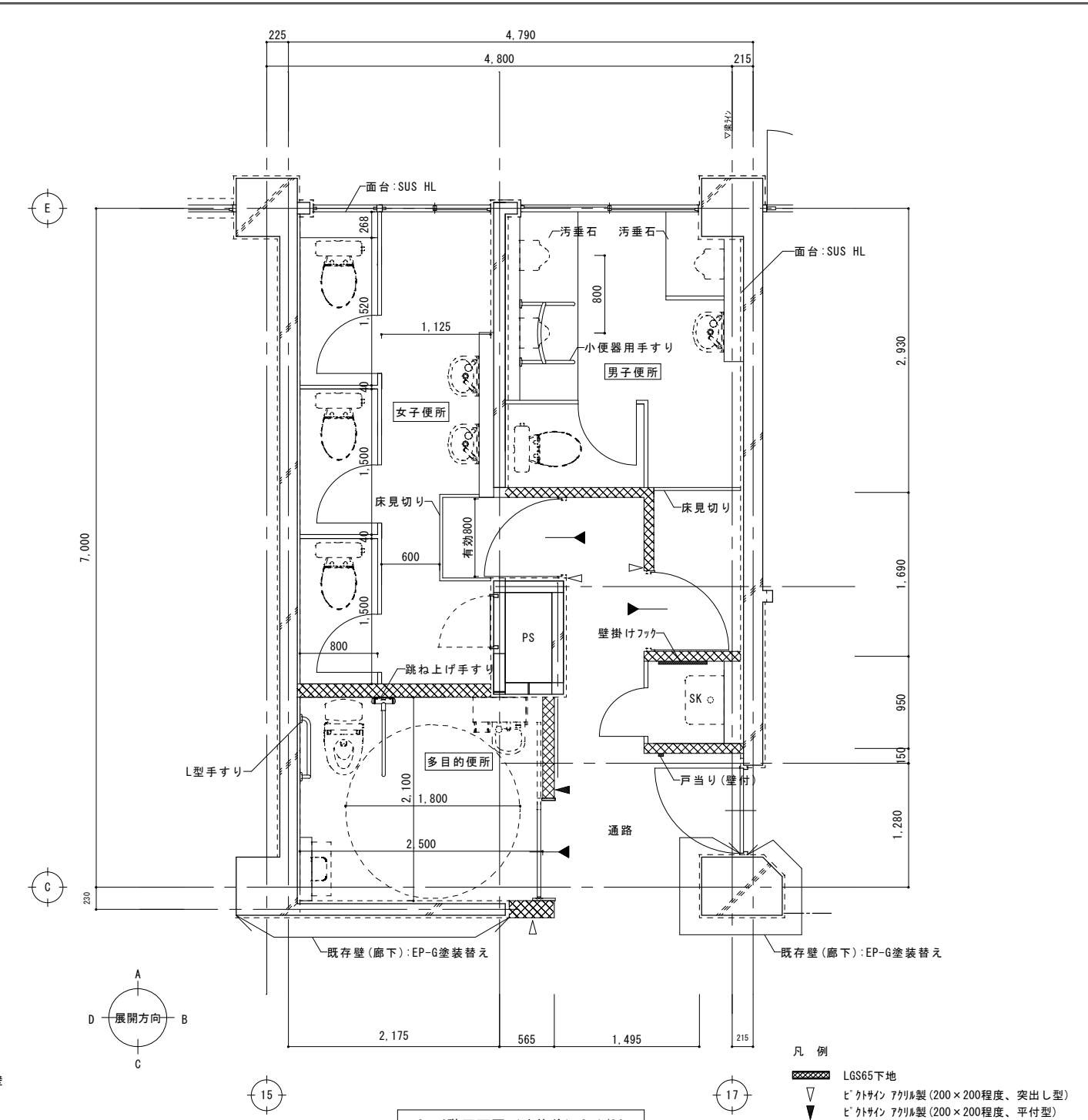
図面No
18/22

縮尺率
A1=100%
A2=71%
A3=50%

福山市建設局建築部営繕課



2~4階平面図 (改修前) S=1/30



2~4階平面図 (改修後) S=1/30

内部仕上表

室名	下地	床		巾木		壁		天井		天井高	廻縁	備考
		仕上	床仕上げ	仕上	床仕上げ	仕上	仕上	仕上	仕上			
男子便所	既存	コンクリート	防滑性ビニル床シート t=2.5 (撤去) 磁器質セラミック張り (撤去、下地モルタル共)	±0 -80	ビニル幅木 H100 (撤去)	コンクリート	モルタル下地 EP-G塗 半磁器質100角タイル貼り (一部H1,200手洗部)	LGS (撤去)	化粧石膏ボード t=9.5 (撤去) 有孔化粧ボード t=9.0 EP-G塗 (7スレスタみなし含有) ※1	2,600~ 2,640	木製 (撤去)	ビニルサイン (撤去)、7スレ天井点検口 (撤去) 床下点検口 (撤去)、金物等 (撤去) 隔て板 (撤去)
	改修	コンクリート	下地処理の上、防滑性ビニル床シート張り t=2.5 土間コンクリート t=145程度 モルタル金銀押入 防滑性床シート貼り t=2.5	±0	床シート巻上げ H100	コンクリート LGS	不良部補修 下地調整の上、化粧タイル板 t=6張り 耐水石膏ボード t12.5 化粧タイル板 t=6張り	LGS	化粧石膏ボード 張り t=9.5	2,520	塩ビ	ラインク面台 (SUS天板) 小便器用手すり、L型手すり、 トイレブラス、隔て板 (H1,200×D500程度) 汚垂石 (セラミックタイル t=5)
女子便所	既存	コンクリート	防滑性ビニル床シート t=2.5 (撤去) 磁器質セラミック張り (撤去、下地モルタル共)	±0 -80	ビニル幅木 H100 (撤去)	コンクリート	モルタル下地 EP-G塗 半磁器質100角タイル貼り (一部H1,200手洗部)	LGS (撤去)	化粧石膏ボード t=9.5 (撤去) 有孔化粧ボード t=9.0 EP-G塗 (7スレスタみなし含有) ※1	2,600~ 2,640	木製 (撤去)	ビニルサイン (撤去)、7スレ天井点検口 (撤去) 床下点検口 (撤去)、金物等 (撤去)
	改修	コンクリート	下地処理の上、防滑性ビニル床シート張り t=2.5 土間コンクリート t=145程度 モルタル金銀押入 防滑性床シート貼り t=2.5	±0	床シート巻上げ H100	コンクリート LGS	不良部補修 下地調整の上、化粧タイル板 t=6張り 耐水石膏ボード t12.5 化粧タイル板 t=6張り	LGS	化粧石膏ボード 張り t=9.5	2,520	塩ビ	ラインク面台 (SUS天板) L型手すり トイレブラス
多目的便所	既存	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	改修	コンクリート	下地処理の上、防滑性ビニル床シート張り t=2.5	±0	床シート巻上げ H100	コンクリート LGS	不良部補修 下地調整の上、化粧タイル板 t=6張り 耐水石膏ボード t12.5 化粧タイル板 t=6張り	LGS	化粧石膏ボード 張り t=9.5	2,640	塩ビ	ビニルサイン:アクリル製 (200×200程度、平付型) ビニルサイン:面台 (SUS天板) L型手すり 跳ね上げ手すり
通路 (前室)	既存	コンクリート	防滑性ビニル床シート t=2.5 (撤去)	±0	ビニル幅木 H100 (撤去)	コンクリート	モルタル下地 EP-G塗 LGS (撤去)	LGS	有孔化粧ボード t=9.0 EP-G塗 (7スレスタみなし含有) ※1	2,640	木製 (撤去)	-
	改修	コンクリート	下地処理の上、防滑性ビニル床シート張り t=2.5	±0	ビニル幅木 H100	コンクリート LGS	下地調整の上、EP-G塗 耐水石膏ボード t12.5 無石棉酸カルシウム板 t=6 EP-G塗	LGS	化粧石膏ボード 張り t=9.5	2,640	塩ビ	ビニルサイン:アクリル製 (200×200程度、突出し型)

- 凡例
- ▽ LGS65下地
 - ▽ ビニルサイン:アクリル製 (200×200程度、突出し型)
 - ▽ ビニルサイン:アクリル製 (200×200程度、平付型)

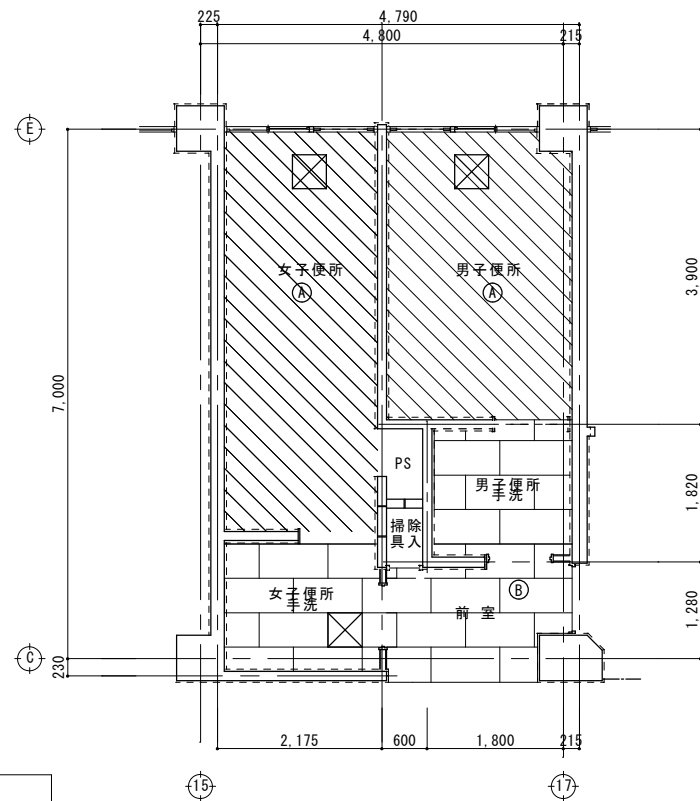
※1 4階:けい酸カルシウム板 t=6.0 (底目地) EP-G塗 (撤去)

※ 既設トイレブラスは一時撤去後、一部新設トイレブラスに再利用する (建具表参照)
その他既設トイレブラスは、監督員が指定する施設 (福山市内) に移動する

※ 別途工事:衛生器具・照明器具・設備器具 (鏡・紙巻器) 等の撤去及び新設
手すり、洗面、SK取付け部には下地補強を行う
天井LGS撤去は、天井インサートを除く全てとする
既設鉄筋コンクリートのハコリは、鉄筋切断面に防錆処理を行う
化粧タイル板張りの端部及びジョイント部は、7スレジョイナーを使用する
床下ビニル内の清掃を行う

工事名称	福山市立加茂中学校校舎 (東側) 便所改修工事	尺度	図示
図面名称	2~4階平面図詳細図 (改修前・改修後)・仕上表	縮尺率	図面No
		A1=100%	19
		A2=71%	23
		A3=50%	

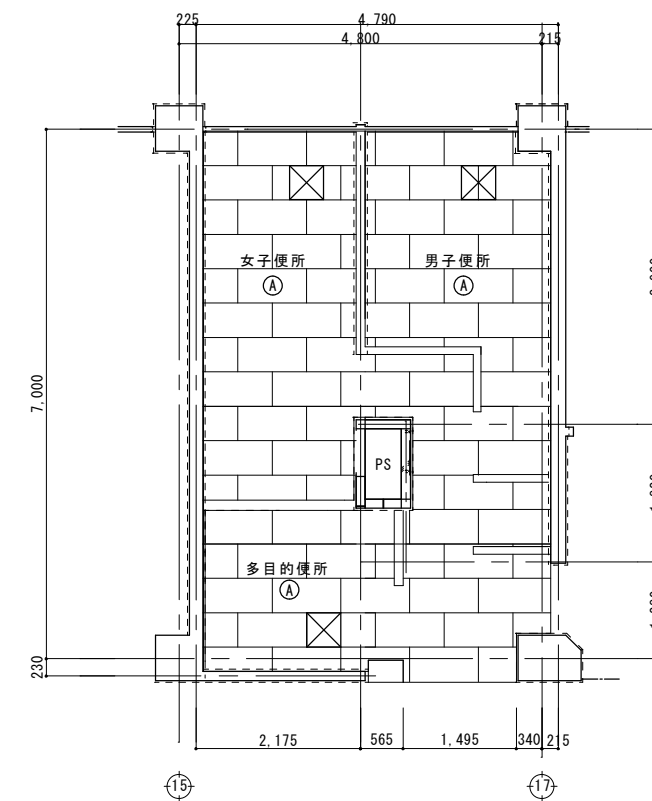
福山市建設局建築部営繕課



<凡例> 改修前(1, 4階)

記号	仕 上
Ⓐ	化粧石膏板 t=9.5
Ⓑ	けい酸加ふくム板 t=6.0(底目地) EP-G塗装
☒	7&天井点検口 450×450

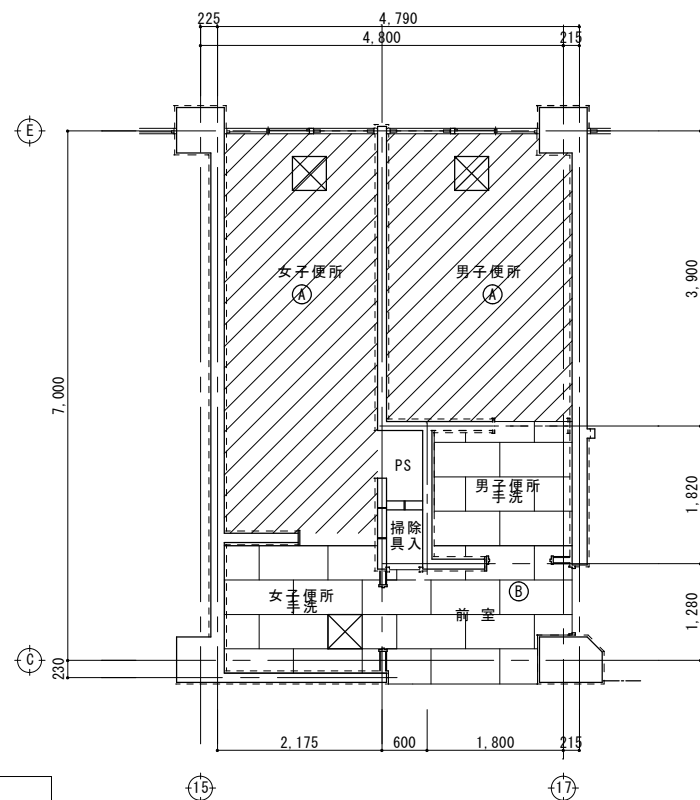
1,4階天井図(改修前) S=1/50 ※既設天井:撤去(LGS下地、天井点検口共)



<凡例> 改修後(1~4階)

記号	仕 上
Ⓐ	化粧石膏板 t=9.5(455×910)
☒	7&天井点検口 450×450

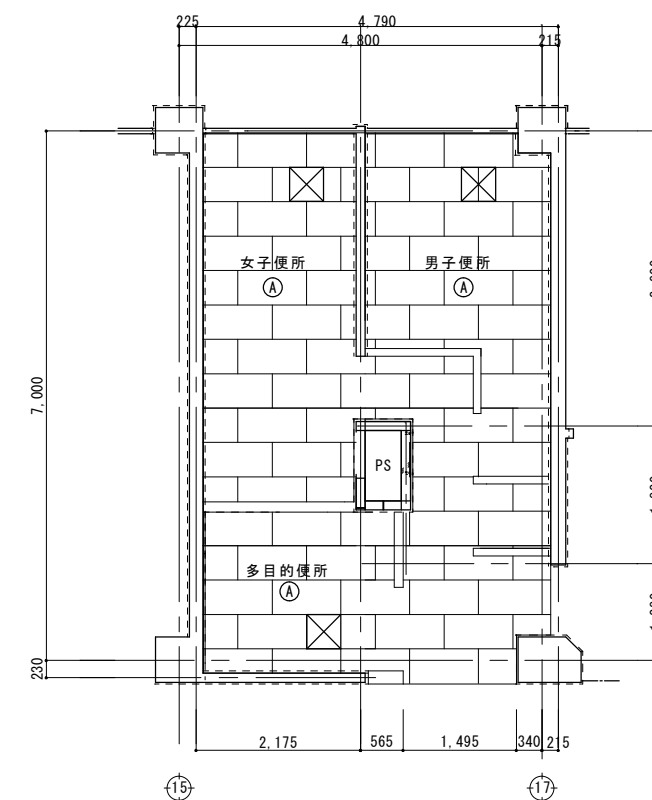
1,4階天井図(改修後) S=1/50



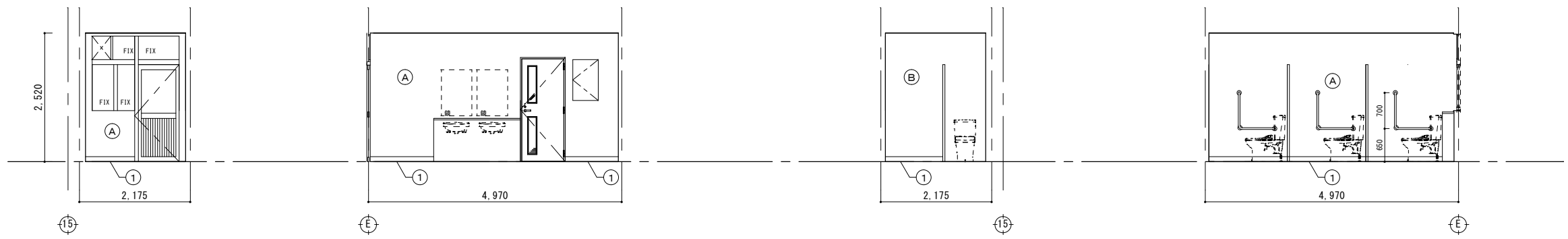
<凡例> 改修前(2, 3階)

記号	仕 上
Ⓐ	有孔化粧板 t=9.0 EP-G塗装(7&ふみなし含有)
Ⓑ	けい酸加ふくム板 t=6.0(底目地) EP-G塗装
☒	7&天井点検口 450×450

2,3階天井図(改修前) S=1/50 ※既設天井:撤去(LGS下地、天井点検口共)



2,3階天井図(改修後) S=1/50

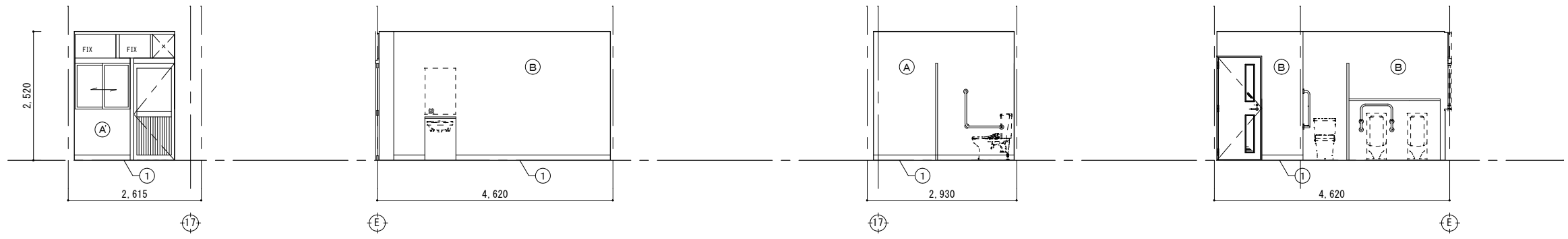


1階 女子便所 A面

女子便所 B面

女子便所 C面

女子便所 D面

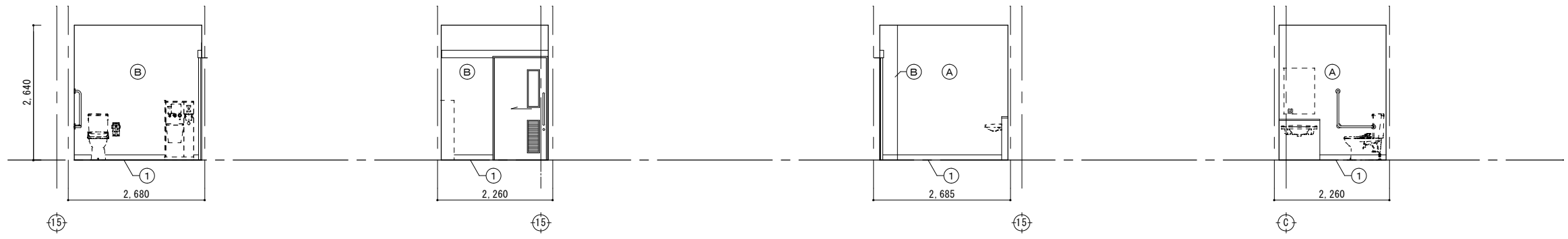


1階 男子便所 A面

男子便所 B面

男子便所 C面

男子便所 D面

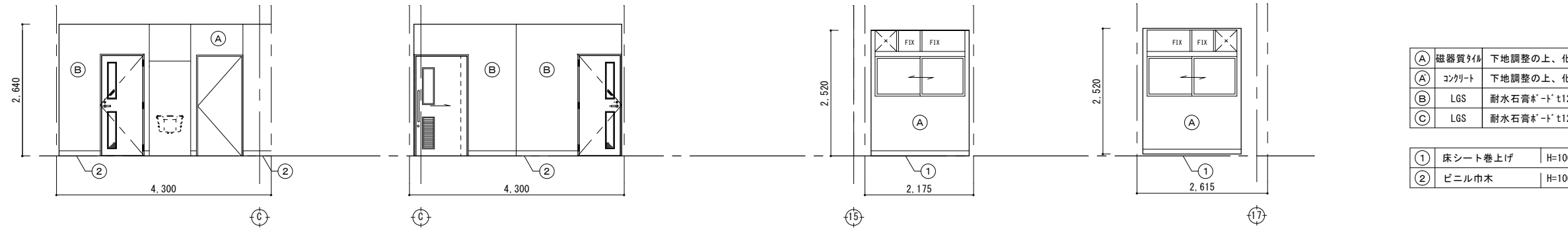


多目的便所 A面

多目的便所 B面

多目的便所 C面

多目的便所 D面



通路 B面

通路 D面

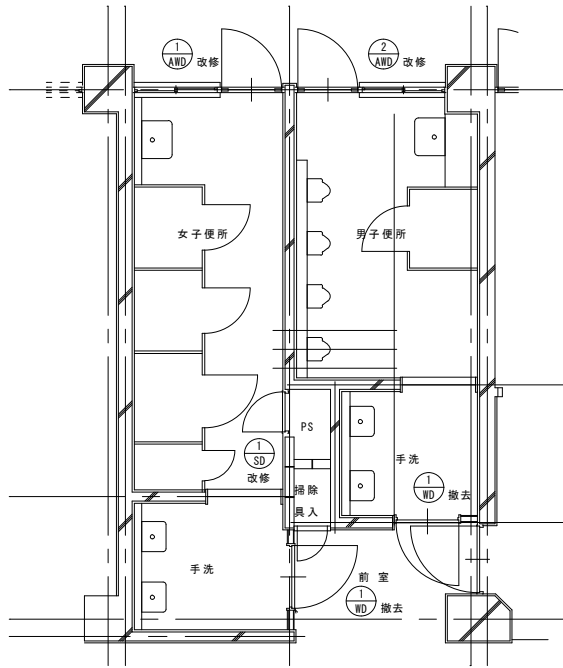
2~4階 女子便所 A面

2~4階 男子便所 A面

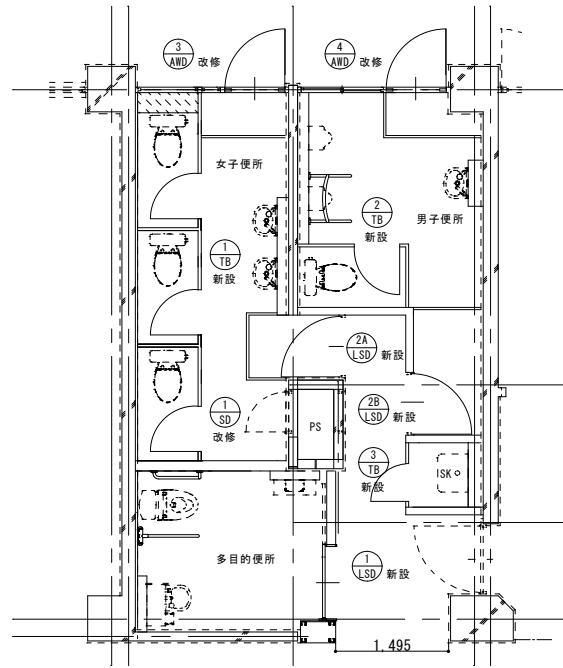
(A)	磁器質タイル	下地調整の上、化粧ケイ化板t=6張り
(A)	コンクリート	下地調整の上、化粧ケイ化板t=6張り
(B)	LGS	耐水石膏*・ド t12.5 化粧ケイ化板t=6張り
(C)	LGS	耐水石膏*・ド t12.5 無石棉ケイ酸シウム板t=6 EP-G塗

(1)	床シート巻上げ	H=100
(2)	ビニル巾木	H=100

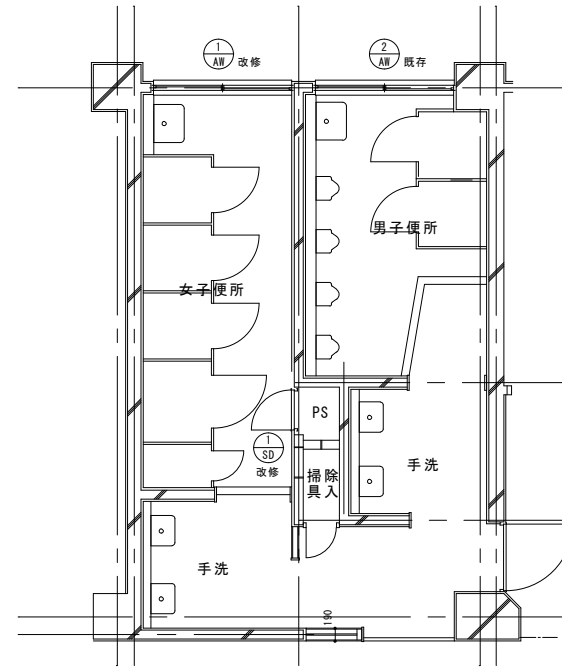
工事名称		福山市立加茂中学校校舎(東側) 便所改修工事	
図面名称		展開図	
	福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	図面No
		A1=100%	21
		A2=71%	23



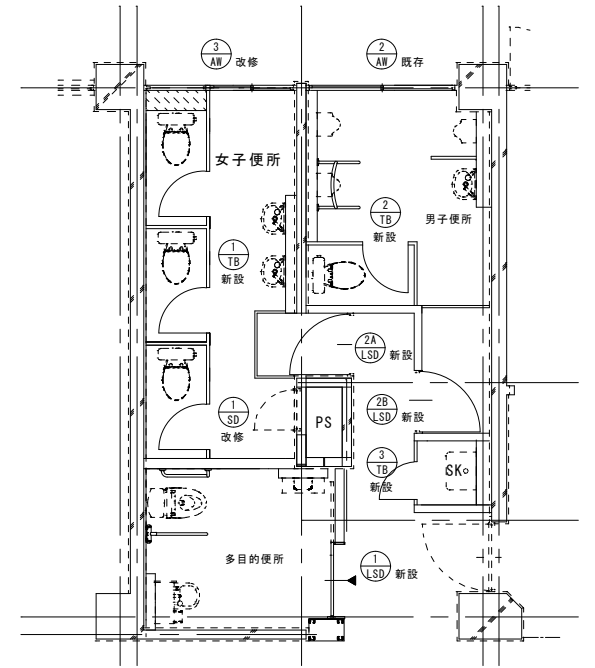
1階建具配置図(改修前) S=1/50



1階建具配置図(改修後) S=1/50

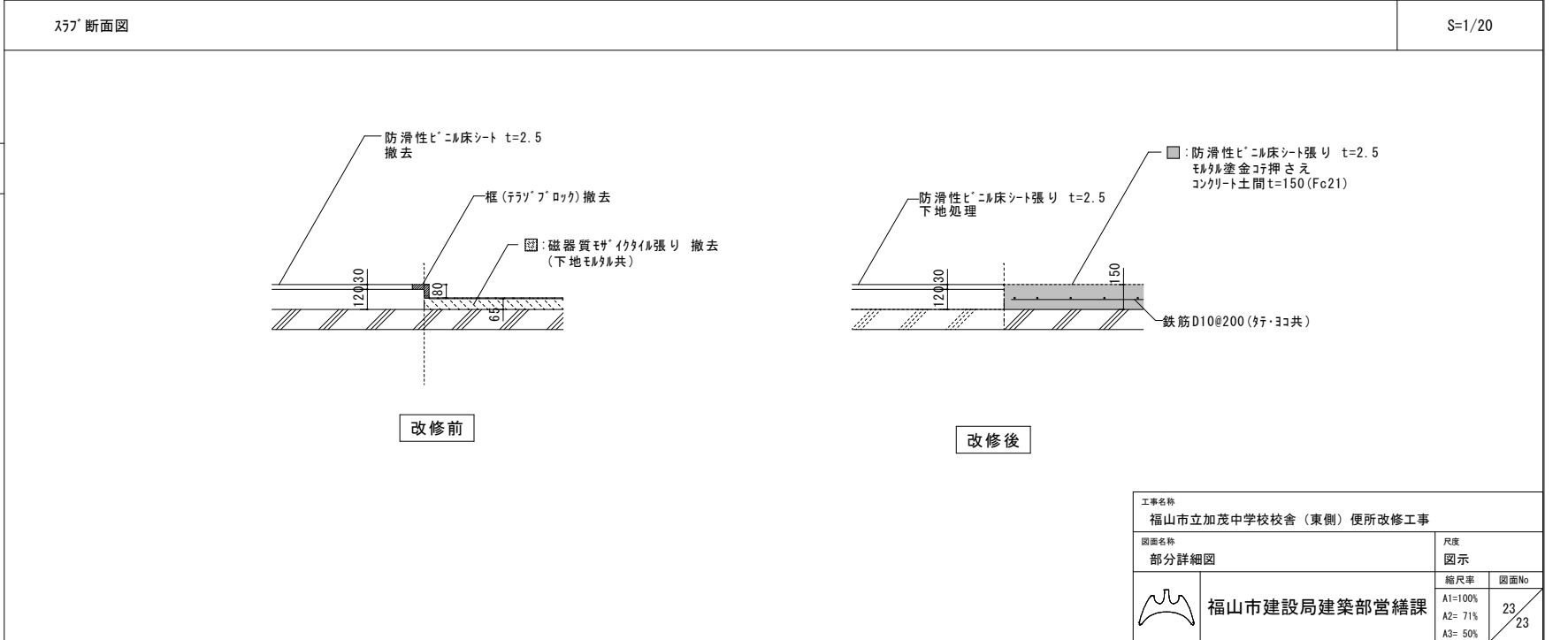
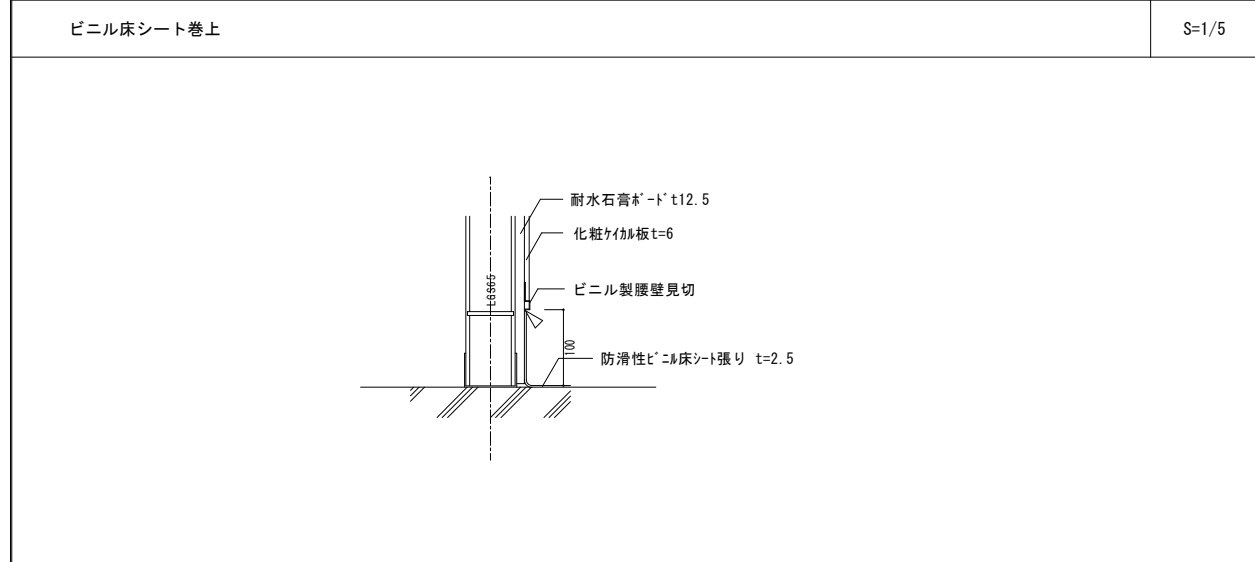
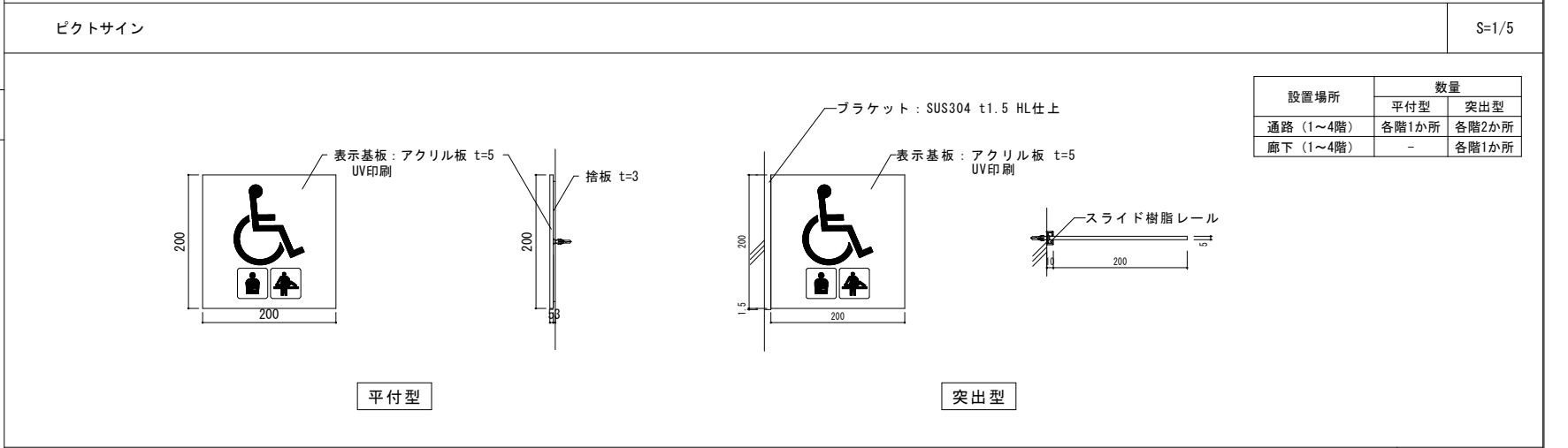
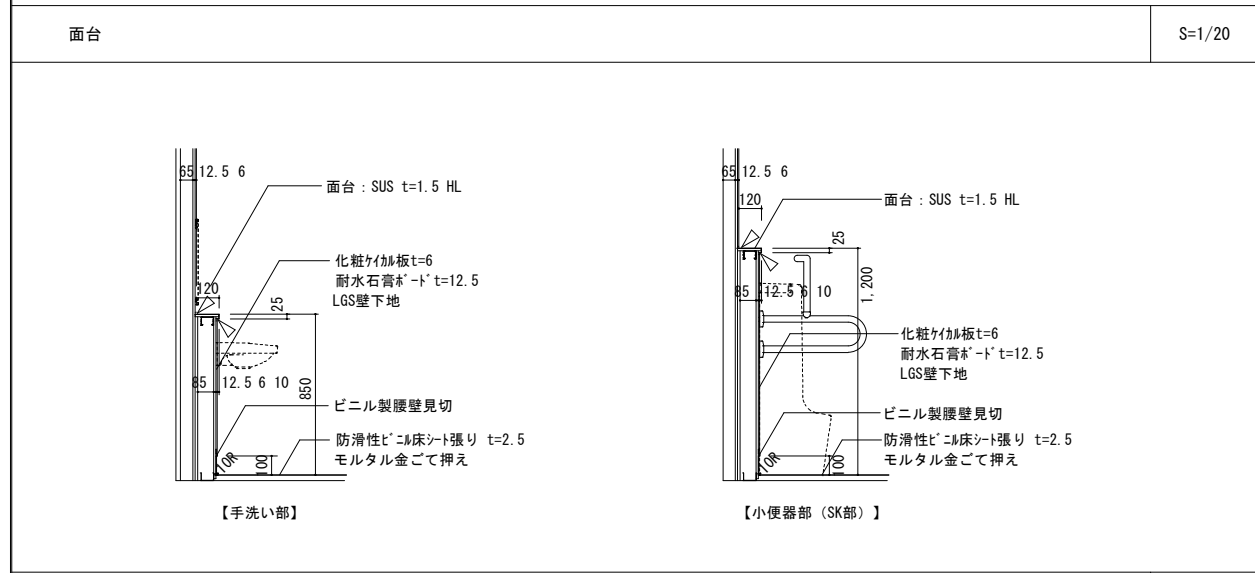
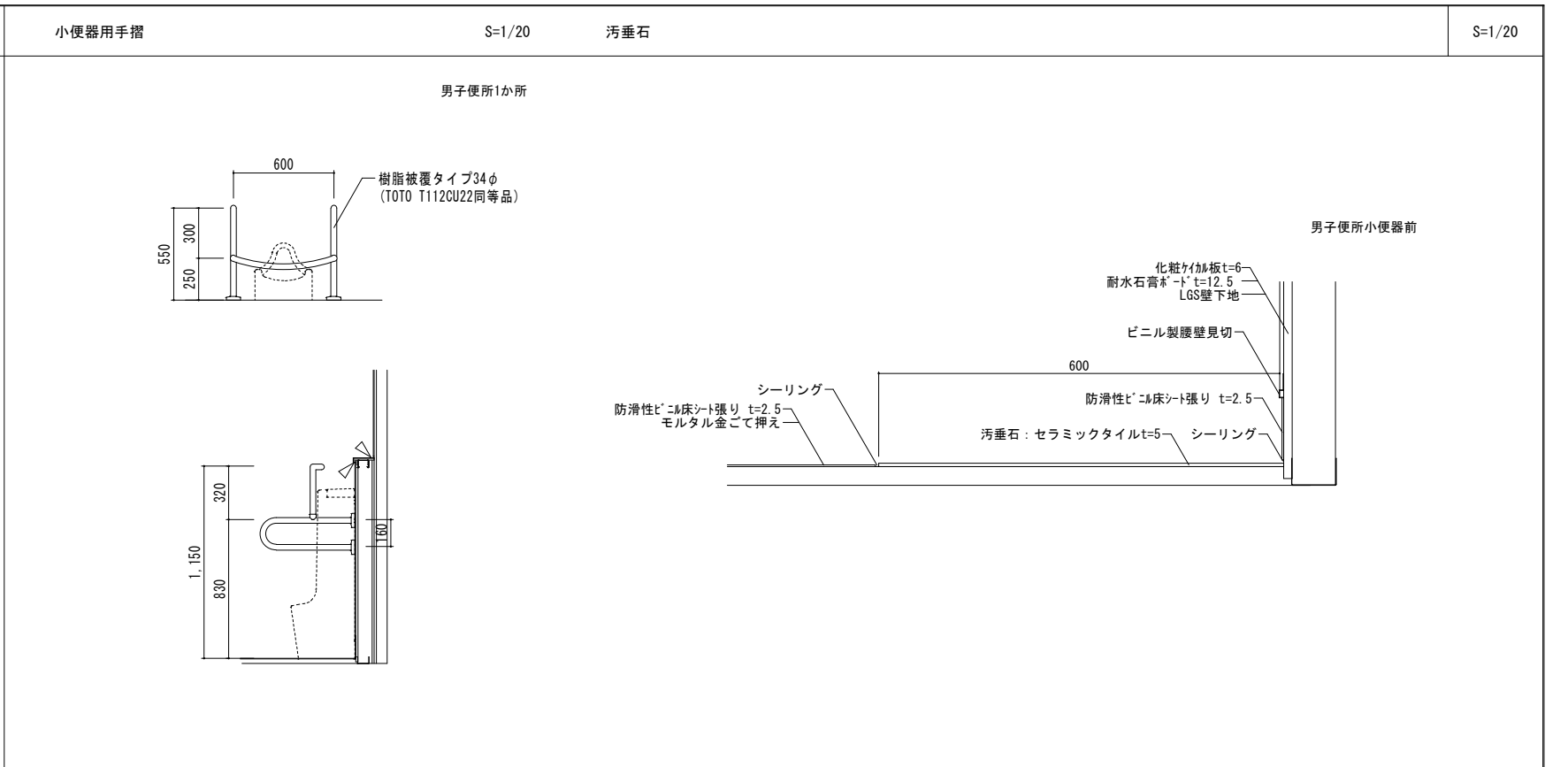
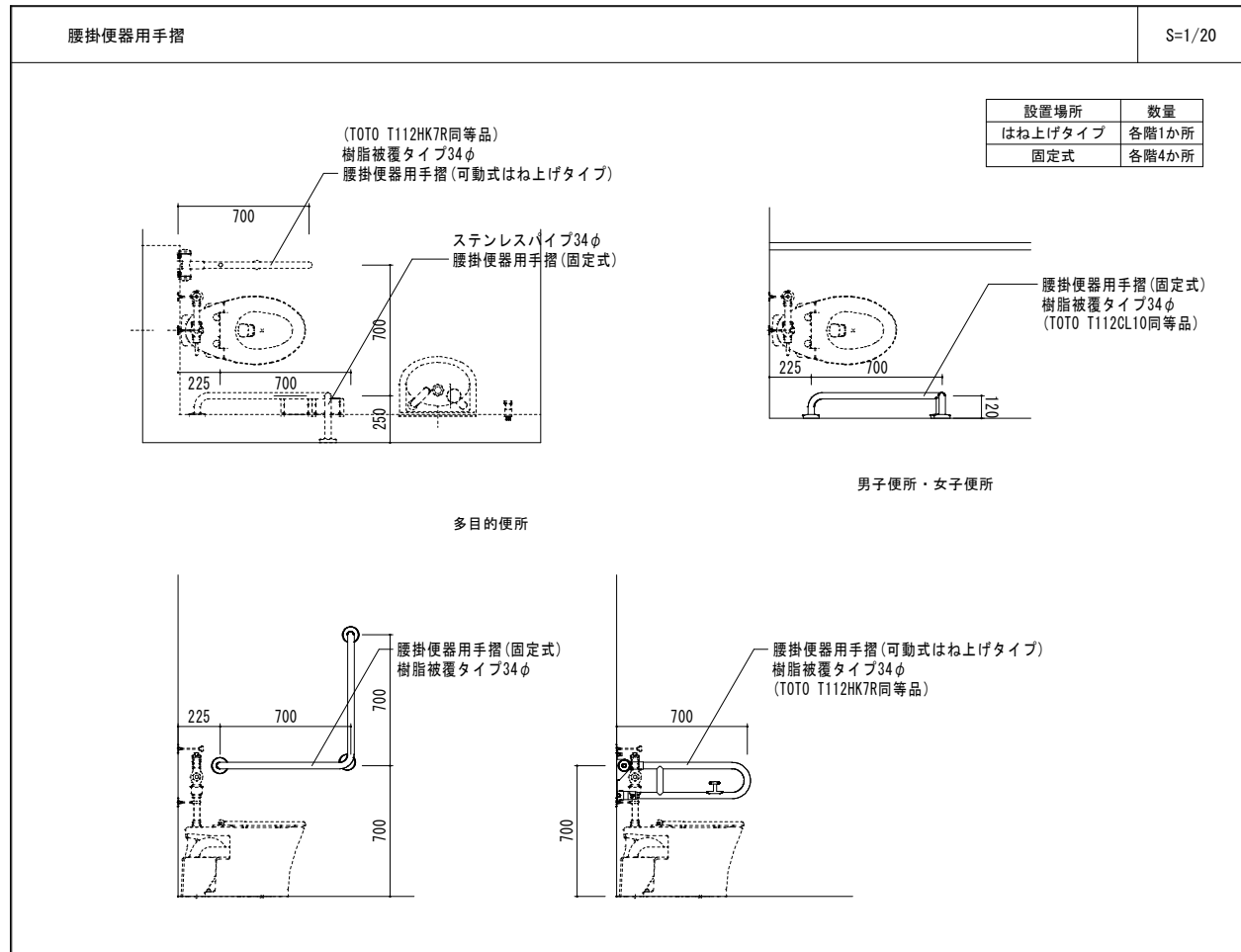


2~4階建具配置図(改修前) S=1/50



2~4階建具配置図(改修後) S=1/50

符号	数量	1 AMD	改修	1	2 AMD	改修	1	3 SD	改修	4	1 SD	改修	2	1 引違窓	改修	3	2 引違窓	既存	3	3 引違窓	改修	3	
符号	数量	1 AMD	改修	1	2 AMD	改修	1	3 SD	改修	4	1 SD	改修	2	1 引違窓	改修	3	2 引違窓	既存	3	3 引違窓	改修	3	
室名	女子便所	女子便所	男子便所	ホール	前室	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	
見込	70	70	70	60	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	
仕上	電解発色	電解発色	電解発色	PL-1.6 フラッシュ FP (SOP塗装替え)	桘:110、扉:36	電解発色	電解発色	電解発色	電解発色	桘:110、扉:36	電解発色	電解発色	電解発色	電解発色	電解発色	電解発色	電解発色	電解発色	電解発色	電解発色	電解発色	電解発色	
硝子	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	PL-1.6 フラッシュ FP (SOP塗装替え)	桘:110、扉:36	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	桘:110、扉:36	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	型板ガラス t=4、腰:7&N'枠 t=3	
金物等	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	付属金物一式、丁番、DC、7&N'額縁	
符号	数量	3 AMD	改修	1	4 AMD	改修	1	1 LSD	新設	4	2A LSD	2B LSD	新設	8	1 引違窓	新設	4	2 引違窓	既存	4	3 引違窓	新設	4
室名	女子便所	女子便所	男子便所	多目的便所	女子便所、男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所
見込	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
仕上	7&N'枠	7&N'枠	7&N'枠	桘:38、枠:135	桘:38、枠:135	7&N'枠	7&N'枠	7&N'枠	7&N'枠	桘:38、枠:135	7&N'枠	7&N'枠	7&N'枠	7&N'枠	7&N'枠	7&N'枠	7&N'枠	7&N'枠	7&N'枠	7&N'枠	7&N'枠	7&N'枠	7&N'枠
硝子	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	型板ガラス t=4	型板ガラス t=4	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	桘:38、枠:135	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3	学校型強化ガラス t=4(改修部)、型板ガラス t=4 腰:7&N'枠 t=3
金物等	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、シリンドー錠(内部サムターン) SUS引棒(L=600) ハンガーレール(アルミ押出型材) ガイドレール(SUS304HL) 自閉装置、戸当りゴム、推錠防止ゴム、土留車撤れ止め、脱輪防止装置、高さ調整式戸車、方アリ	付属金物一式、シリンドー錠(内部サムターン) SUS引棒(L=600) ハンガーレール(アルミ押出型材) ガイドレール(SUS304HL) 自閉装置、戸当りゴム、推錠防止ゴム、土留車撤れ止め、脱輪防止装置、高さ調整式戸車、方アリ	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り	付属金物一式、丁番、DC、握り玉錠、7&N'額縁、下枠 スチルス、SUS戸車、水切り



参考数量書

§ 工事名称 福山市立加茂中学校校舎（東側）便所改修工事

§ 工事場所 福山市加茂町大字下加茂1190番地

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立加茂中学校校舎（東側）便所改修工事

工事場所 福山市加茂町大字下加茂1 1 9 0 番地

【工事概要】
便所改修工事 一式

対象建物 校舎（東側）
鉄筋コンクリート造 4階建
延べ面積 1, 8 1 7 m²

【別途工事】
電気設備工事、給排水衛生設備工事

改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	塗装改修	1	式		
計					
躯体改修	撤去	1	式		
躯体改修	改修	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処理	運搬費	1	式		
発生材処理	処分費	1	式		

改修		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
墨出し(内部改修)	複合改修	139	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	165	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	165	㎡			
養生(通路)	搬出入路部分	1	式			
整理清掃後片付け (通路)	搬出入路部分	1	式			
養生(外壁改修)		8.2	㎡			
整理清掃後片付け (外壁改修)		8.2	㎡			
内部仕上足場	階高4.0m以下 120日 脚立足場 掛払い手間, 修理費, 運搬費共	165	㎡			
外部仕上足場	階高4.0m以下 15日 脚立足場 掛払い手間, 修理費, 運搬費共	4.1	㎡			
高所作業車	トラック架装リフト バックホブ・ブーム型 作業床高 13~14m ホールド付き	2	日			
床下ビッド内清掃		1	式			
計						

改修		建具改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【アルミニウム製建具】						
AW-3(改修)	カハ [°] -工法	3	カ [°] 所			
ADW-3(改修)	カハ [°] -工法	1	カ [°] 所			
ADW-4(改修)	カハ [°] -工法	1	カ [°] 所			
取付費		1	式			
運搬費		1	式			
建具周囲防水 モルタル充填	外部建具	2.9	m			
【鋼製建具】						
LSD-1(新設)		4	カ [°] 所			
LSD-2A(新設)		4	カ [°] 所			
LSD-2B(新設)		4	カ [°] 所			
取付費		1	式			
運搬費		1	式			
【ガラス】						
強化型板ガラス 4mm	1.80以下	6	m ²			
型板ガラス 4mm	2.18以下	1.4	m ²			
シーリング [°]	シリコン系(SR-1) 10×10	79.6	m			
ガラス清掃		6	m ²			
運搬費		1	式			
遮熱フィルム		6	m ²			

改修		内装改修		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
カッター入れ	モルタル面 厚さ20~30mm	109	m			
床タイル撤去	下地モルタル共 集積共	79.4	m ²			
ビニル床シート撤去	集積共	40	m ²			
ビニル幅木撤去	一般 集積共	33.4	m			
床モルタル・床人研ぎ撤去	集積共	79.4	m ²			
床見切り撤去	集積共	5.6	m			
床下点検口撤去		3	か所			
人研ぎ框・面台撤去	集積共	27.3	m			
壁タイル撤去	下地モルタル共 集積共	1.4	m ²			
壁モルタル・プaster撤去	集積共	1.4	m ²			
CB撤去	コンクリートブレイカ 集積共	1	m ³			
コンクリート撤去	鉄筋切断共 人力 集積共	5.2	m ³			
壁合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	15.6	m ²			
壁下地撤去	集積共	7.8	m ²			
壁見切縁撤去	集積共	7.8	m			
パネーション撤去	集積共	4.3	m ²			
天井合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	87.4	m ²			
天井下地撤去	集積共	127	m ²			
天井点検口撤去	集積共	9	か所			
金物撤去	集積共	1	式			

改修		内装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
【床】						
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 薄張物下地	79.4	m ²			
下地処理	ケレン	40	m ²			
ビニル床シート	柄 厚さ2.5 複層ビニル床シートFS 熱溶接工法 防滑仕様	119	m ²			
ビニル床シート巻上げ 幅木	H=100 熱溶接 出隅・入隅処理加算	126	m			
ビニル幅木張り	高さ100	31.3	m			
汚垂石	セマシタイル張り 厚5mm	6	m ²			
シーリング [※]	シリコン系(SR-1)防かびタイプ [※] 10×10	7.8	m			
【壁】						
下地状態調査	タイル・モルタル部	252	m ²			
壁タイル撤去	下地モルタル共 集積共	7.5	m ²			
下地調整 (壁タイル撤去)	材工共	7.5	m ²			
壁モルタル塗り	金ごて 内壁 厚20	4.9	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり@450 標準	88.5	m ²			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 出入口等 リップみぞ形鋼補強 片開き(900×2000程度)	12	か所			
壁下地補強	器具取付部 材工共	1	式			
壁 シーリング [※] せっこうボード [※] 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード [※] 下地 下地張り - -	122	m ²			
壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ソラス)0.8FK 厚 6 鋼製、木、ボード [※] 下地 目透かし - -	68.4	m ²			
化粧けい酸カルシウム 板張り	目地処理共	340	m ²			
シーリング [※]	シリコン系(SR-1)防かびタイプ [※] 10×10	31.5	m			

改修		内装改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
【天井】						
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート別途 標準	119	m ²			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ボート等切込み共	12	か所			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H=500以下	7.5	m ²			
天井化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トライホン 突付け	119	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	208	m			
【エントリ及びその他】						
床点検口	屋内用 一般型貼物用 アルミ製枠 ステンレス目地 鍵無 600角	3	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	12	か所			
面台	SUS HL120×25×1.5	22.4	m			
面台	SUS HL280×25×1.5	3.2	m			
床見切り	ステンレス 幅25	60	m			
端部見切材	塩化ビニル製	126	m			
ビクトサイン	平付型200角 アクリル樹脂 材工共	4	か所			
ビクトサイン	突出型200角 アクリル樹脂 材工共	12	か所			
壁掛けフック	4774 材工共	4	か所			
L型手摺	T112CL1同等品 700×700(H120) 下地補強 材工共	20	か所			
跳ね上げ手摺	T112HK7R同等品 L=700 下地補強 材工共	4	か所			
小便器手摺	T112CU2同等品 下地補強共 材工共	4	か所			
戸当り	壁付け	4	か所			

改修		内装改修			改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
隔て板		0					
【トイレース】							
TB-1(新設)	奥行ハ 補加工共	4	カ所				
TB-2(新設)	奥行ハ 補加工共	4	カ所				
TB-3(新設)	奥行ハ 補加工共	1	カ所				
隔て板	W500×H1200	3	カ所				
取外し	再利用部 移動部	1	式				
運搬費	トイレース移動	1	式				
取付費		1	式				
運搬費		1	式				
計							

改修		躯体改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【鉄筋】						
あと施工アンカー	D10 接着系アンカー	20	本			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	0.5	t			
鉄筋加工組立	小型構造物	0.5	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.5	t			
【型枠】						
型枠	普通合板型枠	1.7	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	1.7	m ²			
【コンクリート】						
普通コンクリート	JIS A5308 FC=21 S15 粗骨材20 土間、スラブ	47	m ³			
普通コンクリート	JIS A5308 FC=21 S18 粗骨材20 腰壁	0.1	m ³			
構造体強度補正	S=6 Fc 21-15-20 N	47.1	m ³			
コンクリート打設手間	土間 ホンプ打設 50m ³ /回程度 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	47.1	m ³			
コンクリートホンプ圧送 基本料金	30m ³ 以上 50m ³ /回未満	3	回			
コンクリートホンプ 圧送	30m ³ 以上 50m ³ /回未満 基本料金別途加算	47.1	m ³			
計						

改修		土間改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
型枠	普通合板型枠	19.8	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	19.8	m ²			
普通コンクリート	JIS A5308 FC=21 S15 粗骨材20 土間	0.5	m ³			
構造体強度補正	S=6 Fe 21-15-20 N	0.5	m ³			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15~S18 - -	0.5	m ³			
差し筋アンカー	D10 金属拡張アンカー	15	本			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	0.1	t			
鉄筋加工組立	小型構造物	0.1	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.1	t			
床モルタル塗り	金ごて モルタル仕上げ 厚30	4.4	m ²			
階段モルタル塗り	金ごて モルタル仕上げ 厚30	2.6	m ²			
階段手すり	ステンレス φ42.7	3.7	m			
靴拭きマット	塩化ビニール製	2	か所			
靴拭きマット枠	ステンレス	4.4	m			
舗装部分補修		0				
計						

